

第4章

地域づくりの方針 (地域別構想)

4-1 東部地域

4-2 中部地域

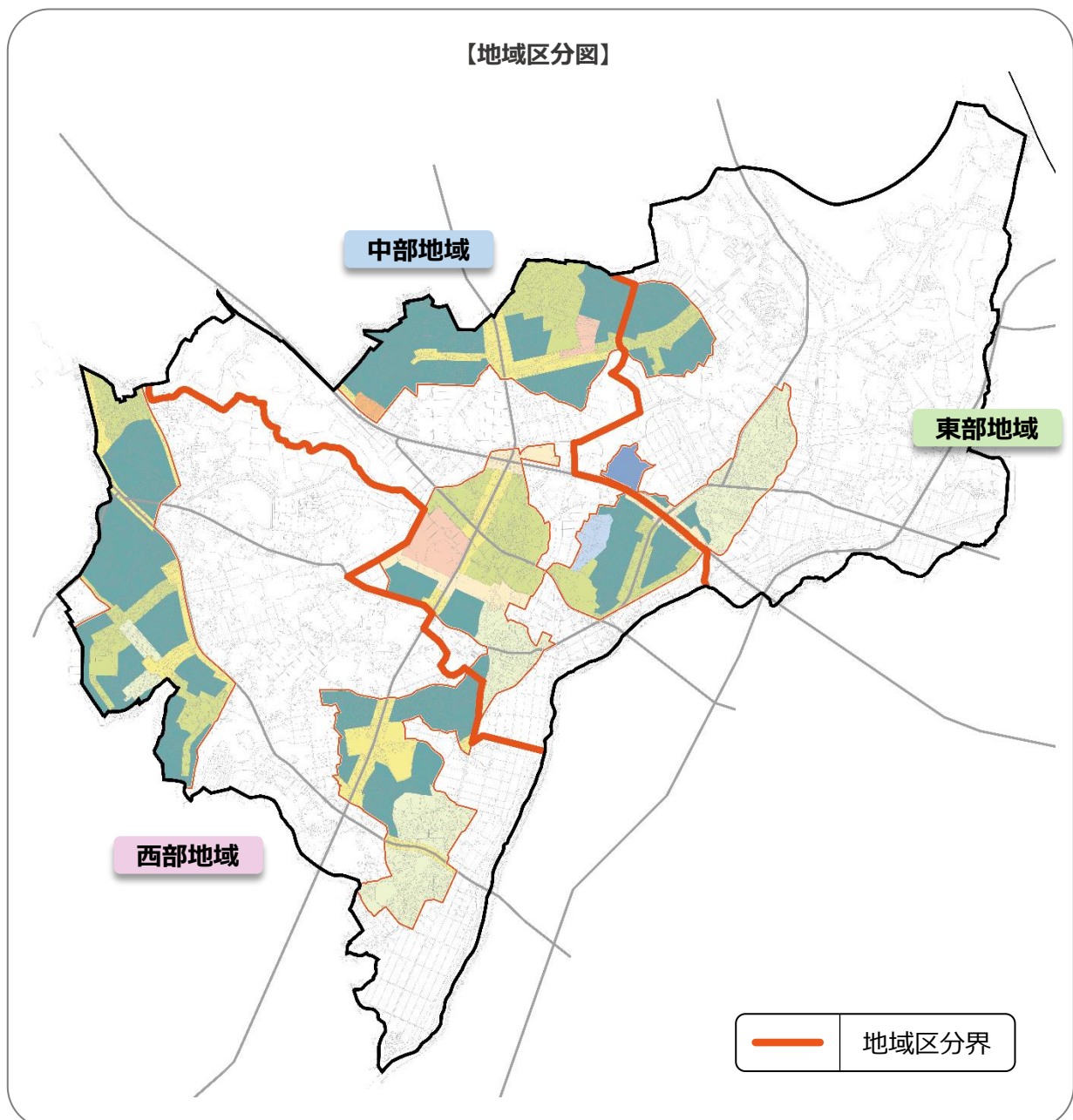
4-3 西部地域

第4章 地域づくりの方針（地域別構想）

地域別構想は、全体構想に示された整備の方針等を受け、各地域の現状や課題に対応したまちづくり目標を設定し、それを実現するためのまちづくりの方針を明らかにするものです。

また、地域別構想の策定にあたっては、地域の現況特性や、町民アンケート（「東郷町都市計画マスタープラン」の策定に関するアンケート調査）結果、東郷町まちづくり会議（ワークショップ）の意見を参考としました。

地域別構想における地域区分の設定については、地域のまちづくりの目標や施策を考えるうえで適切な範囲となるように、市街地形成の経緯（旧村の成り立ち）、市街地のまとまり・人口の状況や社会的圏域、町民の日常生活圏（中心核や地区拠点の配置状況）等を総合的に勘案し、以下のように、3つの地域（東部地域、中部地域、西部地域）に区分します。



4 - 1 東部地域

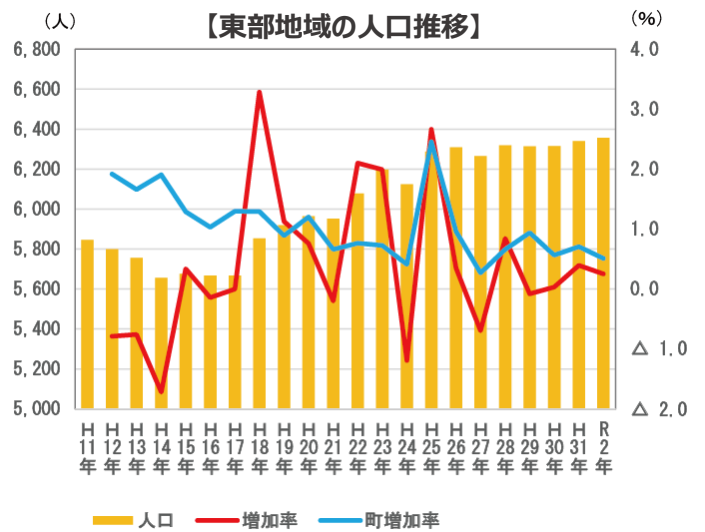
(1) 地域の概況

東部地域の概況

■ 本地域は、町域の東部に位置し、諸輪、諸輪住宅、御岳の各行政区*で構成されています。

東部地域の人口推移

■ 人口は令和2年3月末時点で6,357人で、人口動向は、平成17年までは減少傾向でしたが、以降は増加傾向に転じ、平成25年頃からは増減がほとんど見られません。人口増加率は、一時期を除き町全体の増加率を下回る傾向にあります。



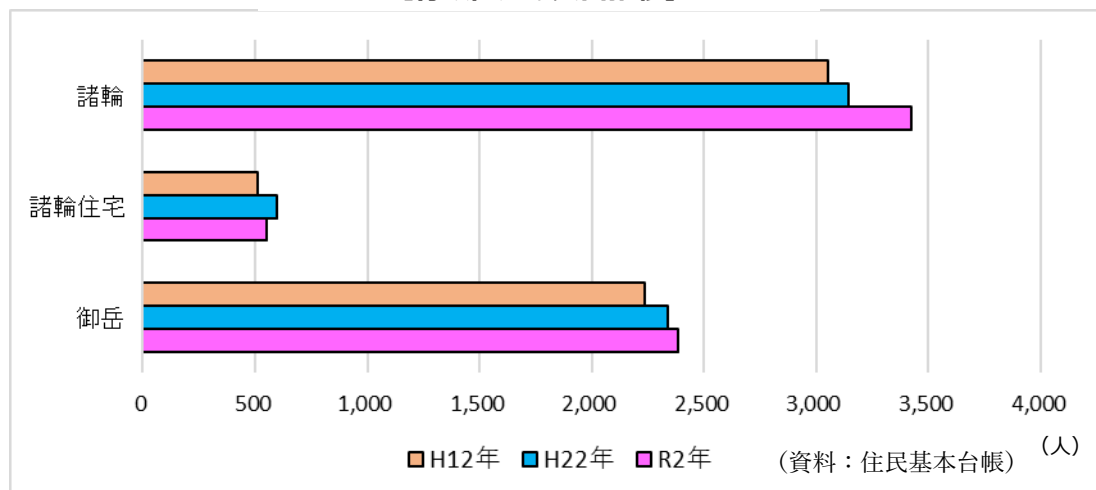
行政区別の人口推移

■ 行政区別の人口では、諸輪地区が最も多く、平成22年から令和2年までにかけて大きく増加しています。御岳地区でも増加傾向にあります。諸輪住宅地区については、人口規模が少なく大きな変動はありません。

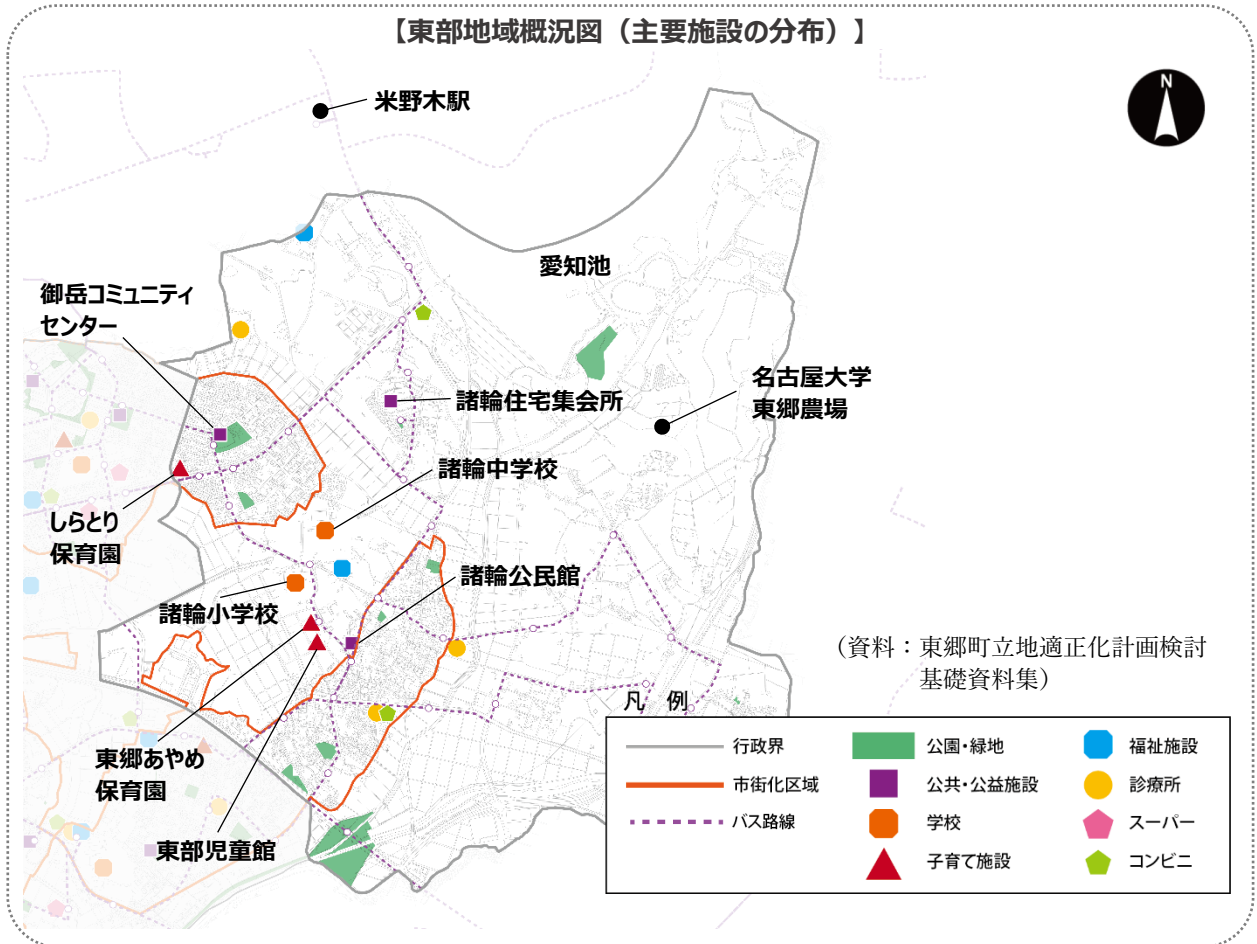
土地利用状況・交通状況等

- 市街化区域は地域の約12%で、市街化調整区域が多くを占めています。
- 市街化調整区域では比較的大規模な開発行為のほか、小規模な開発行為も点在しています。
- 日進市境に愛知池が広がり、山林や田園環境等の豊かな自然が広がっているほか、名古屋大学東郷農場が立地しています。
- 東名高速道路の東名三好IC等に近く、また、地域北側の日進市域の米野木駅に近接しており、広域的な交通条件は良いといえますが、地域内のバス路線は限定的で、公共交通のサービスは低くなっています。

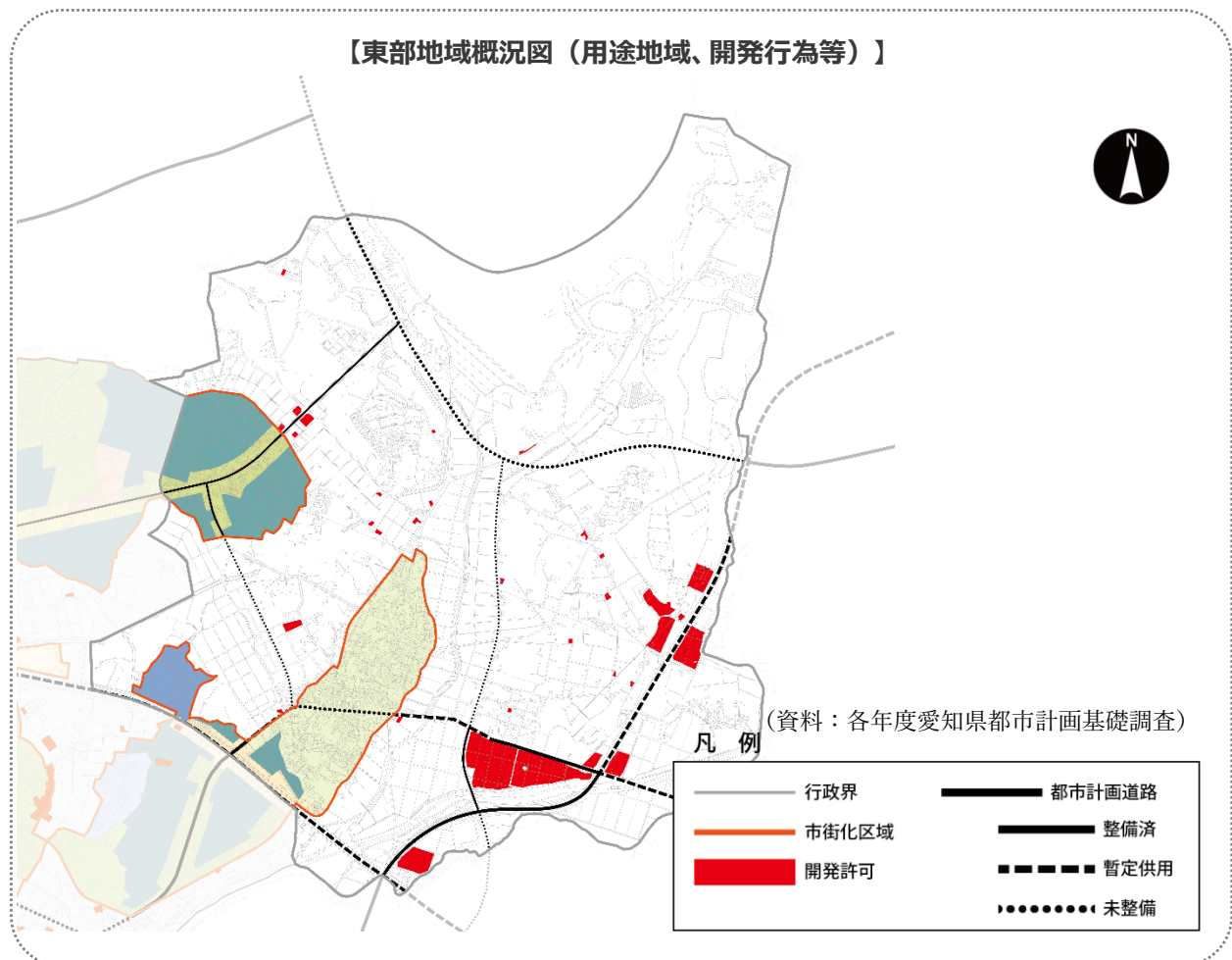
【行政区別の人口推移】



【東部地域概況図（主要施設の分布）】



【東部地域概況図（用途地域、開発行為等）】



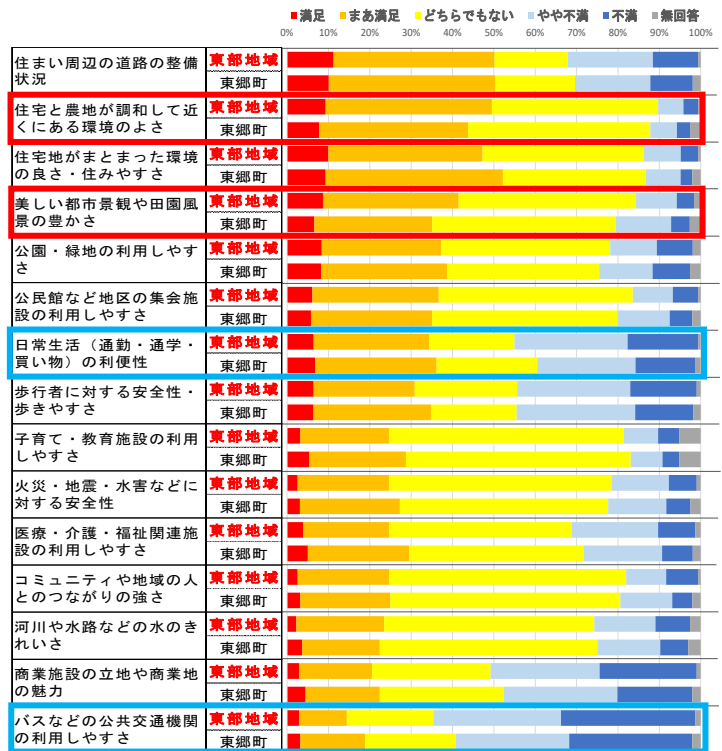
町民アンケートの主な結果

お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について

- 町全体に比較して、「美しい都市景観や田園風景の豊かさ」、「住宅と農地が調和して近くにある環境のよさ」で満足度が高い。
- 町全体に比較して、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」で不満度が高い。

- 町全体に比較して満足度が高い項目
- 町全体に比較して不満度が高い項目

Q:【お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について】

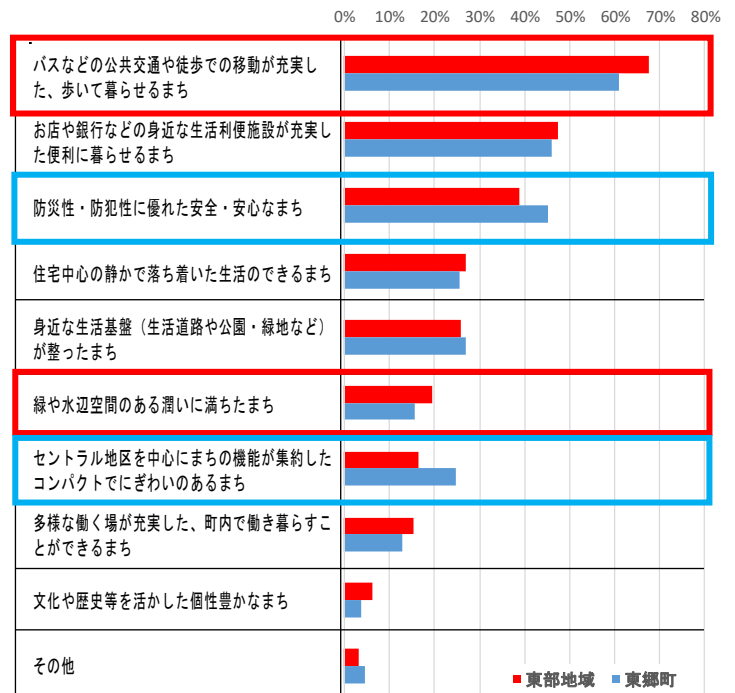


Q:【東郷町のこれからのまちづくりについて】

東郷町のこれからのまちづくりについて

- 町全体に比較して、「バスなどの公共交通や徒歩での移動が充実した、歩いて暮らせるまち」、「緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち」を重視する回答が多い。
- 町全体に比較して、「防災性・防犯性に優れた安全・安心なまち」、「セントラル地区を中心にまちの機能が集約したコンパクトでにぎわいのあるまち」が少ない。

- 町全体に比較して重視する回答が多い項目
- 町全体に比較して重視する回答が少ない項目



※各設問における東郷町全体の数値との比率を計算し、上位・下位各2つを抽出

町全体に比較してバスなどの公共交通を活用した日常生活の利便性、緑や水辺空間のある潤いに満ちたまちづくりへの要望があります。

地域の優れた点・魅力、守るべき資源

- 愛知池を始めとする豊かな自然環境を有しているところ、諸輪囃子太鼓や棒の手等の伝統・文化が守られている。
- 自動車交通の便に恵まれており、名古屋等隣接市へのアクセスが良好。
- 町民同士のつながりが強く、消防団等の活動もスムーズ。

地域での問題、課題

- 豊かな自然環境を有している反面、山林や農地の管理が課題。
- 高齢化の進行に伴い、地域活動の担い手が不足。
- 高齢化の進行や介護については、公共交通による生活の足が弱く車なしでは生活が難しい現状や、一人暮らしの高齢者の生活が不安。地域で見守りができる体制が必要。

地域がめざす方向

生活環境 ▶ 住宅地として住みやすいまち、開発と自然の両立、のんびりとした暮らし等

地域資源 ▶ 愛知池を基幹とする地域、自然豊かなみどりの多いまち、歴史・文化・人を生かす等

交通・移動 ▶ 北の玄関口としてのまちづくり、集落地への通過交通防止・安全対策、高齢者が移動しやすいまち等

地域活動 ▶ 若者等の働く場所の確保による転出の抑制、移住者の地域コミュニティへの導入、一人暮らし高齢者等の暮らしの支援等

まちづくりのアイデア

生活環境 ▶ 愛知池周辺の活用、自宅周りの緑化、農地・空き地の活用、巡回バスの再編成等

地域資源 ▶ 未利用地（山林、耕作放棄地）の整備、愛知池周辺緑地の保全と活用、縁日等のコミュニティの場づくり等

交通・移動 ▶ 都市計画道路等の整備、ららぽーとへのシャトルバスの運行、車前提の考え方からの転換等

地域活動 ▶ 子ども主体のコミュニティの活性化、関係人口の増加、空き家の活用（つどいの場、生活支援カフェ等）等

その他 ▶ 企業誘致、IT等の新分野の誘致等

地域にとって大切なまちづくりのキーワード

- 住みやすく快適な住環境
- 利便性の高い都市環境（買い物、通院、用事等）
- コミュニティのつながり
- 豊かな自然環境（森林の緑や池の水面等）

地域のまちづくりの主な目標について

- 住みやすい歴史あるまち
- 幼児から老人まで自家用車なしで暮らせる安心な町
- 一生住み続けたい町
- 地域に根ざした人を育てるまちづくり
- 中高齢者を地域で支えるコミュニティ
- 地域資源を活用し、元気に生きがいを持てる町づくり

(2) 地域のまちづくり課題

自然環境の保全と市街地との調和

- 水と緑の拠点として位置付けた愛知池周辺、水と緑の環境軸として位置付けた境川や前川等については、拠点や軸の形成に向け、周辺に残る森林や農地等の豊かな自然環境を保全するとともに、町民が身近に自然とふれあえる場として活用を図ることが必要です。
- 市街地の都市的土地利用と自然的土地利用との適正な土地利用区分により、地域環境の調和を図ることが必要です。



【愛知池周辺の緑と市街地】

市街化区域内の市街地環境整備・維持

- 御岳地区の市街地等は面的整備がなされていますが、諸輪地区では生活道路等の基盤施設が十分整備されないままの市街地がみられます。今後、本地域の町民が安心して暮らし続けることができるためには、交通安全性に加え、防災面での安全性の向上等により、地域住民の暮らしを支えるような市街地環境の充実・改善を図ることが必要です。
- 諸輪地区の中市周辺は、旧来からの地域の中心的存在であり、市街地の維持を図るためには、地域の中心となる拠点が求められます。そのため、中市周辺について、市街化調整区域の主要施設と連携し、歴史・文化資源を保存・活用した地域生活拠点の形成が必要です。



【諸輪地区の古くからの市街地】

市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持

- 市街化調整区域においては、県営諸輪住宅等の市街地があるほか、旧来からの集落地が点在しています。これら市街地・集落地の生活環境を守り、伝統的なコミュニティを維持することが必要です。
- 市街地や集落とその周りに広がる自然環境・田園景観とが調和した土地利用の形成が必要です。

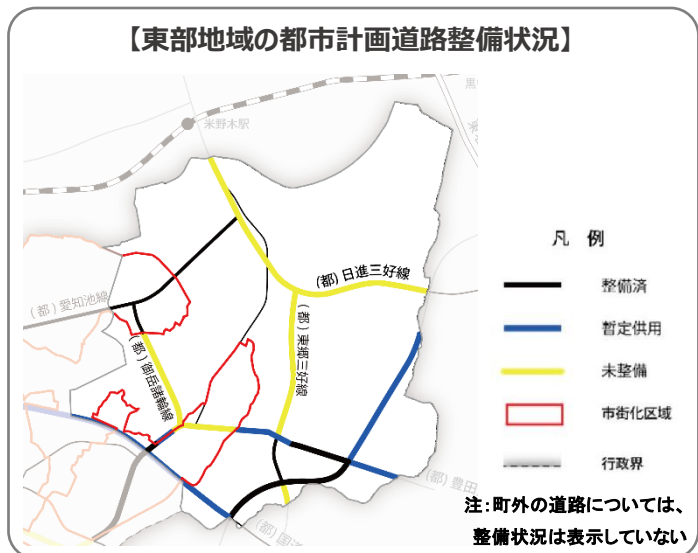


【旧来からの集落地の様子】

交通体系の整備推進、公共交通環境の利便性の維持・改善

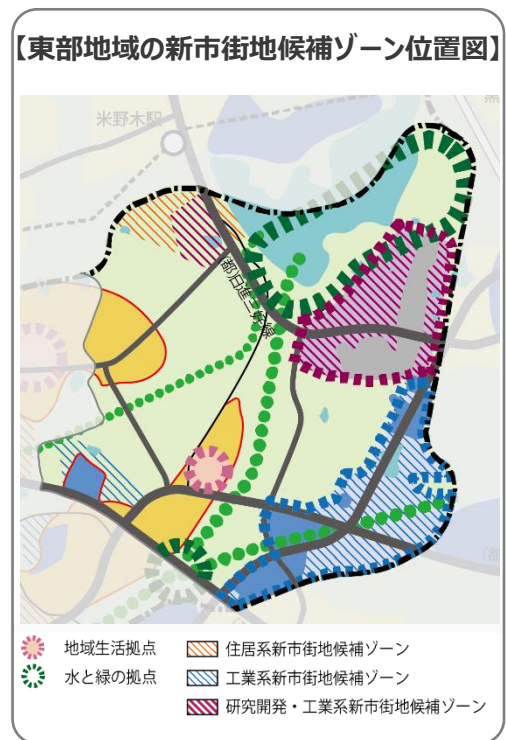
- (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路は整備が完了しておらず、交通サービスを始め、土地利用形成や災害対応等を含め、整備の促進を図る必要があります。
- 公共交通（バス）を始め、徒歩や自転車等により地域内外の主要施設等へのアクセス利便性*を高める等、自動車を運転できない高齢者を始め誰もが安心して移動できるような公共交通環境の維持・改善を図ることが必要です。

- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討する必要があります。



新市街地候補ゾーン実現化の検討

- 住居系新市街地候補ゾーンとして位置付けた愛知池西側の市街化調整区域については、町全体の当面の人口増加に対応し、今後の住宅地需要、面的整備に向けた事業熟度、市街化区域内の低未利用地の活用等を踏まえながら、計画的に住宅地形成を図ることが必要です。
- 地域南部や諸輪工業団地周辺の工業系新市街地候補ゾーン、(都)日進三好線沿線の研究開発・工業系新市街地候補ゾーンについては、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、その形成に向けて、地域の持つさまざまな利活用の可能性を踏まえ、工業系機能、流通業務系機能や研究開発系機能を主体とした土地利用を促進することが必要です。



(3) 地域のまちづくり目標

**豊かな自然と新たな産業活力が調和した
誰もが快適に暮らせるまち**

本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。

また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

行政が中心となり取り組むべき施策

愛知池や田園景観等の自然環境の保全と既存市街地との調和のために

- ▶ 愛知池周辺に広がる森林等の保全に向け、無秩序な土地利用転換を抑制するための方策を検討します。
- ▶ 愛知池については、魅力ある水辺環境として整備及び保全を図り、町民の憩いの場として施設等の適正な維持管理を図ります。
- ▶ ヒメボタルが生息する前川周辺に広がるまとまった農地については、農振農用地区域の指定を継続しつつ、農業の担い手育成や生きがい農業の実践等により、保全を図ります。



【前川の水辺空間】

諸輪地区等の市街化区域内の市街地環境整備・維持のために

- ▶ 諸輪地区の中市周辺は、白鳥神社を始め地域に根差した社寺・無形文化財等の歴史・文化資源があり、これらの保全・活用を図ります。また、市街化調整区域には公民館、小中学校、保育園、児童館等の教育・子育て施設、医療施設等の日常生活を支える都市機能が多く立地しており、こうした施設と連携した子育て世代や若者世代の受け皿となる住環境整備を推進し、多様な世代の交流の活性化による地域生活拠点の形成を図ります。
- ▶ 諸輪地区を中心に、生活道路の整備・改修を進めます。
- ▶ 諸輪地区の古くからの市街地や御岳地区の市街地では、幹線道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促します。
- ▶ 歩行者が安全に安心して通行できるよう歩道の整備や歩道での段差解消を図ります。
- ▶ 旧上城保育園跡地を、地域の町民の方々による検討会議を踏まえ、地域の交流の場ともなる「上城さくら公園」として整備します。



【上城保育園跡地公園整備検討会議（ワークショップ）の様子】

旧来からの市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持のために

- ▶ 集落内に通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進します。
- ▶ 農業の担い手育成等により、耕作放棄地等の解消により、豊かな田園環境を保全します。
- ▶ 地区・世代間の人々の交流を促すコミュニティ施設*の整備を支援するとともに、地域の子育て支援の拠点となる児童館等の維持・保全、整備の継続を図ります。
- ▶ 東部地域の小学校・中学校においては、施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設の整備を進めます。
- ▶ 消防団詰所長寿命化計画の策定により、老朽化が著しい消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置を進めます。

広域的交通体系と身近な交通環境の整備推進のために

- ▶ (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図ります。
- ▶ ボトルネック交差点*等の改善や道路舗装の修繕を計画的に進めます。
- ▶ バス路線やダイヤ設定、近隣市との連携等、東郷町巡回バスの利用しやすい環境づくりを進めます。また、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を進めます。
- ▶ 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討します。
- ▶ 前川等の水と緑の環境軸を中心に河川空間を活用して、歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。

住居系・工業系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

- ▶ 愛知池西側の市街化調整区域については、日進市の米野木駅に近接する利便性を生かし、新たな住宅市街地又は研究開発・工業系新市街地として整備を進めます。
- ▶ 諸輪東部の工場等集積地周辺の市街化調整区域は、営農環境や自然環境との調和に十分留意し、地域の活性化に資する工業系土地利用を主体とした工場や先端業種等の新たな産業立地による土地利用を促進します。
- ▶ 諸輪工業団地周辺等の市街化調整区域においては、工場等の操業環境の維持・保全を図りつつ、今後も産業機能の集積を図るため、既存団地の拡大による土地利用を促進します。
- ▶ (都)日進三好線沿線の市街化調整区域は、名古屋大学東郷フィールド等の既存の研究施設等と連携しながら、愛知池とその周辺の自然環境を活かした緑と産業が調和した魅力あるまちづくりを目指し、産業力の強化及び地域の産業振興等を図ります。
- ▶ これらの新市街地ゾーンについては、地域の持つさまざまな利活用の可能性に配慮して検討します。

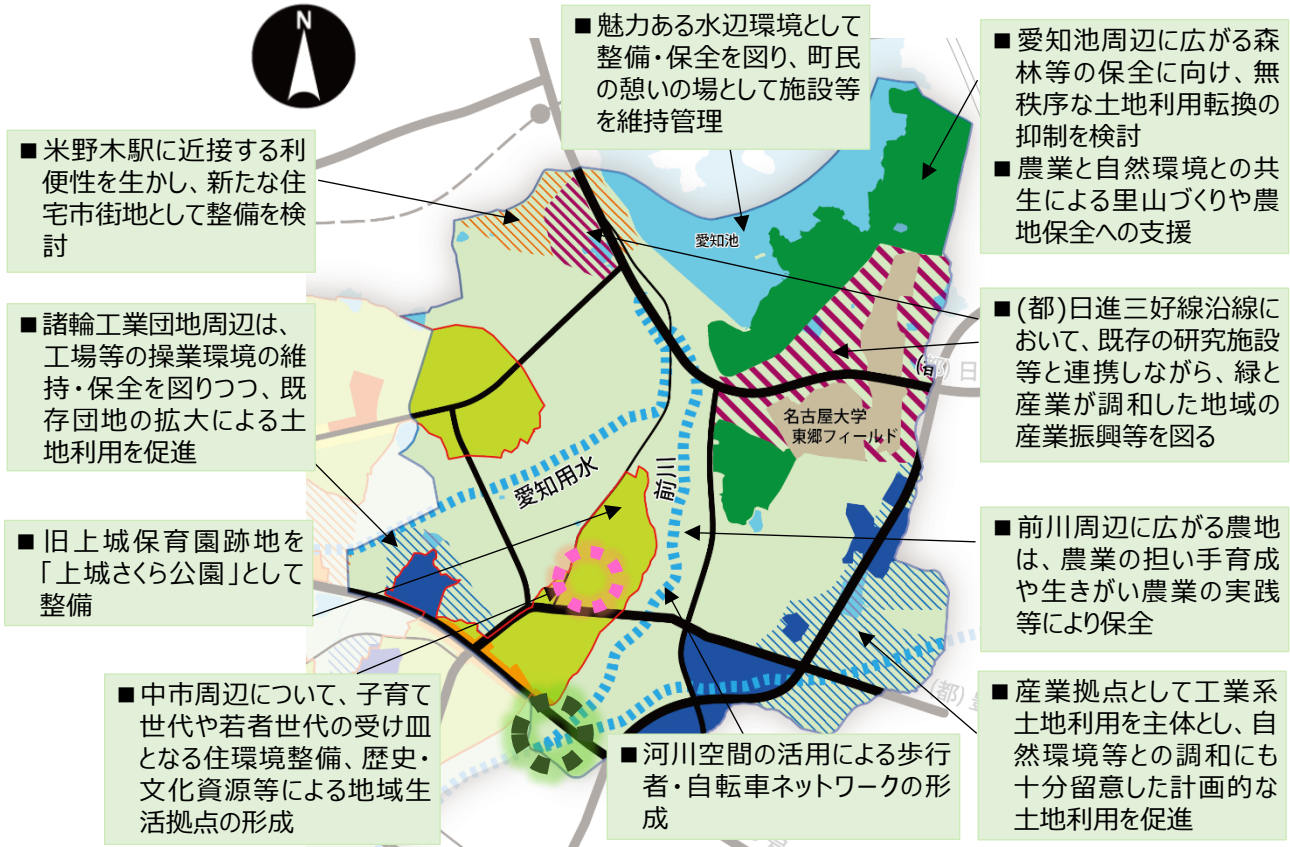
地域の町民等による取組に対する支援



【愛知池周辺で活動する「愛知池友の会」による花壇（バタフライガーデン）づくりの風景】
（愛知池友の会活動ホームページより）

- 愛知池の周辺等に残る豊かな自然の保全に向けた町民意識や機運を高めるため、緑や生きもの等と自然にふれあうことのできる場や機会を提供する等、農業と自然環境との共生による町民等が主体となった里山づくりや農地保全に関する取組を支援します。
- 空き家の活用、児童館・公園等の公共公益施設の活用により、旧来からの居住者、新たに転入した居住者、外国人居住者との交流、子どもを中心としたコミュニティ活動等、多様な交流活動の取組を支援します。
- 今後整備・改修される広場や公園、共用スペース等については、民間やNPO法人等による管理運営も視野に入れ、町民の交流や地域情報の発信、地域行事のお披露目の場として活用できるよう支援します。

【東部地域のまちづくり方針図】



凡例

専用住宅地	沿道サービス地	森林	住居系新市街地候補ゾーン	水面・ため池
一般住宅地	工業地	地域生活拠点	工業系新市街地候補ゾーン	ゴルフ場・名古屋大学東郷フィールド
商業業務地	田園・集落地	水と緑の拠点	研究開発・工業系新市街地候補ゾーン	市街化区域

【地域全体】

土地利用

- 幹線道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促進
- 耕作放棄地等の解消を図り、農地の適正な利用集積と豊かな田園環境を保全
- 交流を促すコミュニティ施設の整備を支援、子育て支援の拠点となる児童館等の維持・保全、整備の継続

その他

- 空き家や公共公益施設の活用による町民の交流、子どもを中心としたコミュニティ活動等、多様な交流活動の取組を促進するための支援
- 東部地域の小中学校では施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設を整備
- 消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置

道路・公共交通

- (都)日進三好線、(都)豊田知立バイパス線、(都)東郷三好線等の都市計画道路については、関係機関と協議しながら整備の促進を図る。
- ボトルネック交差点等の改善、道路舗装の修繕を計画的に推進
- 生活道路の整備・改修を推進
- 歩道の整備や歩道での段差解消
- 集落内に通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進
- 巡回バスの利用しやすい環境づくり、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を推進
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討

4-2 中部地域

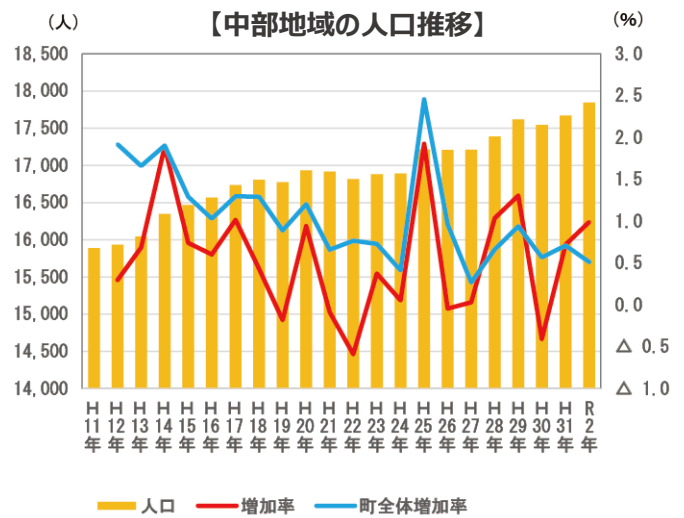
(1) 地域の概況

中部地域の概況

- 和合、傍示本、和合ヶ丘、白鳥、押草団地南、押草団地北、北山台の各行政区で構成されています。

中部地域の人口推移

- 人口は令和2年3月末時点で17,845人で、人口動向は、おおむね増加傾向にありますが、町全体の増加率を下回っています。



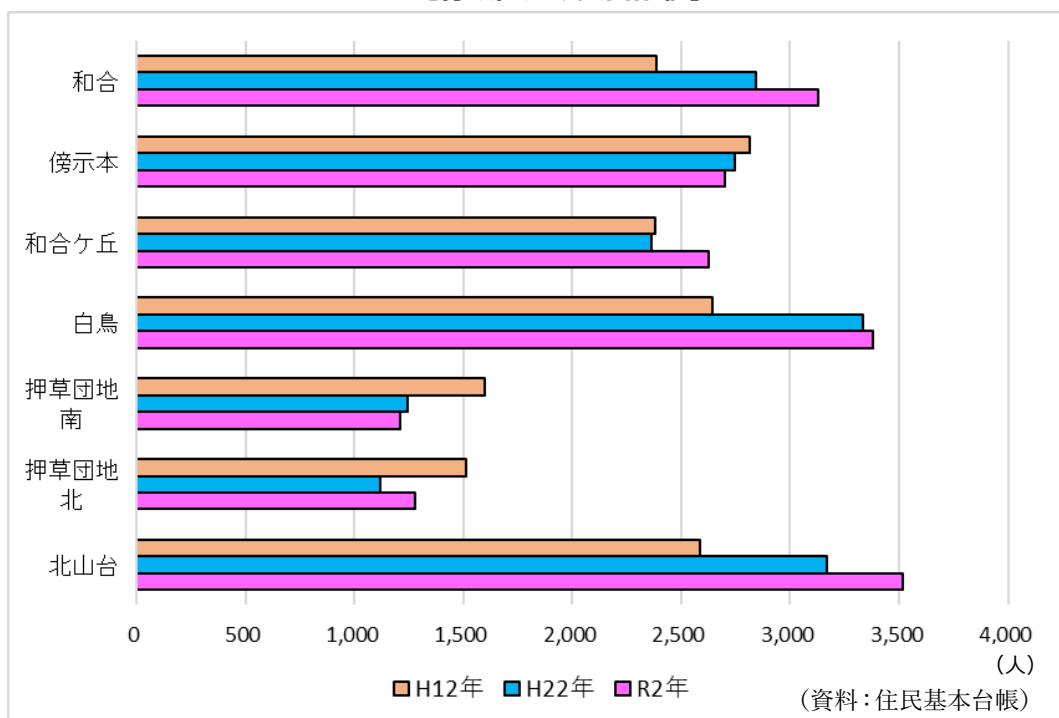
行政区別の人口推移

- 行政区域別の人口では、和合、白鳥、北山台地区では人口は増加傾向にありますが、傍示本、押草団地南地区では人口は減少傾向にあります。

土地利用状況・交通状況等

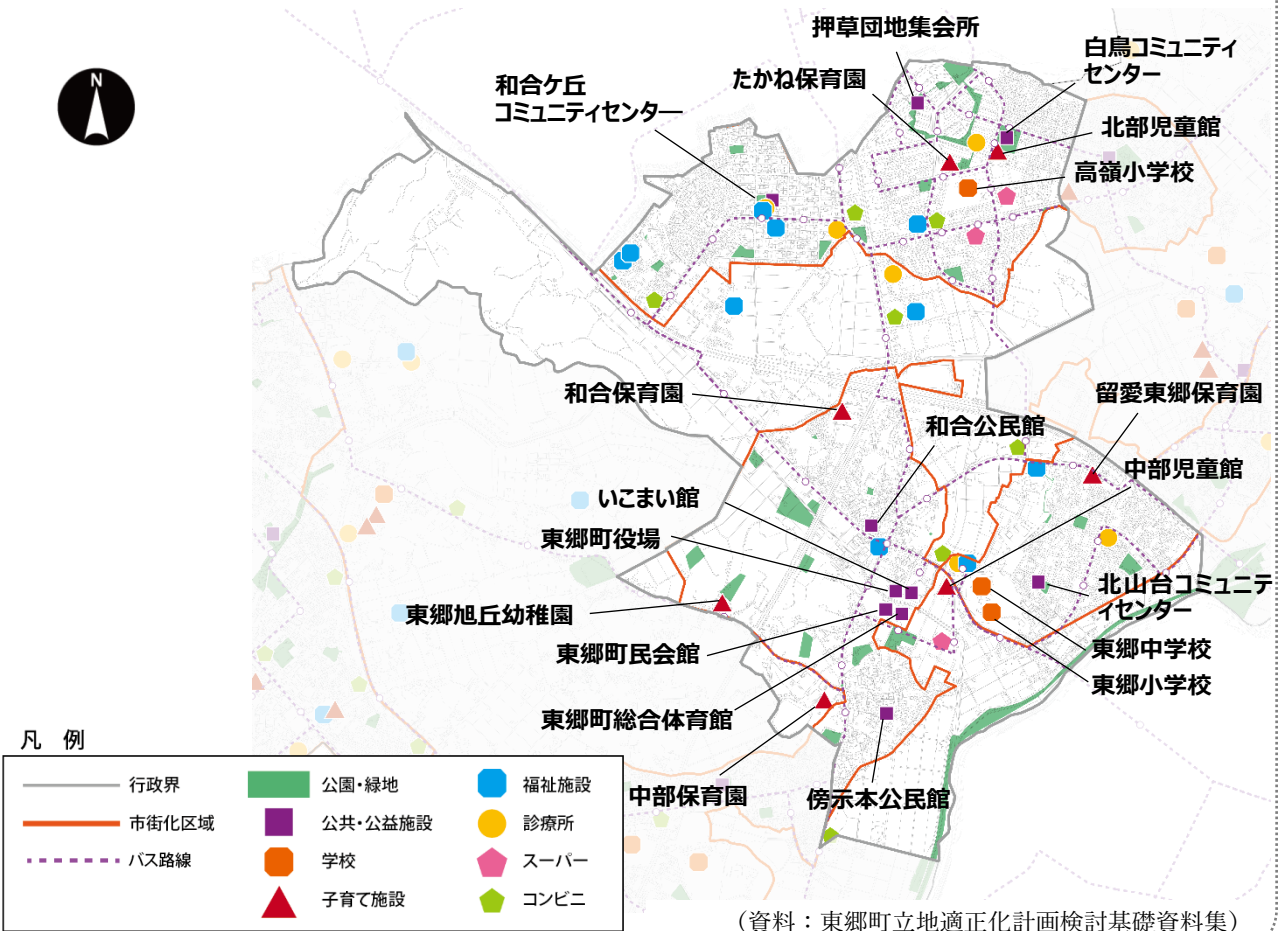
- 市街化区域は地域の約51%で、町役場を始め子育て施設、スーパー、コンビニ等が立地し、生活利便施設は充実しています。また、バス路線も多く、公共交通のサービス水準も高い状況にあります。
- 東郷セントラル地区においては開発整備が進行中で、大規模商業施設の立地により、商業等の利便施設のサービスはより高まるといえます。

【行政区別の人口推移】

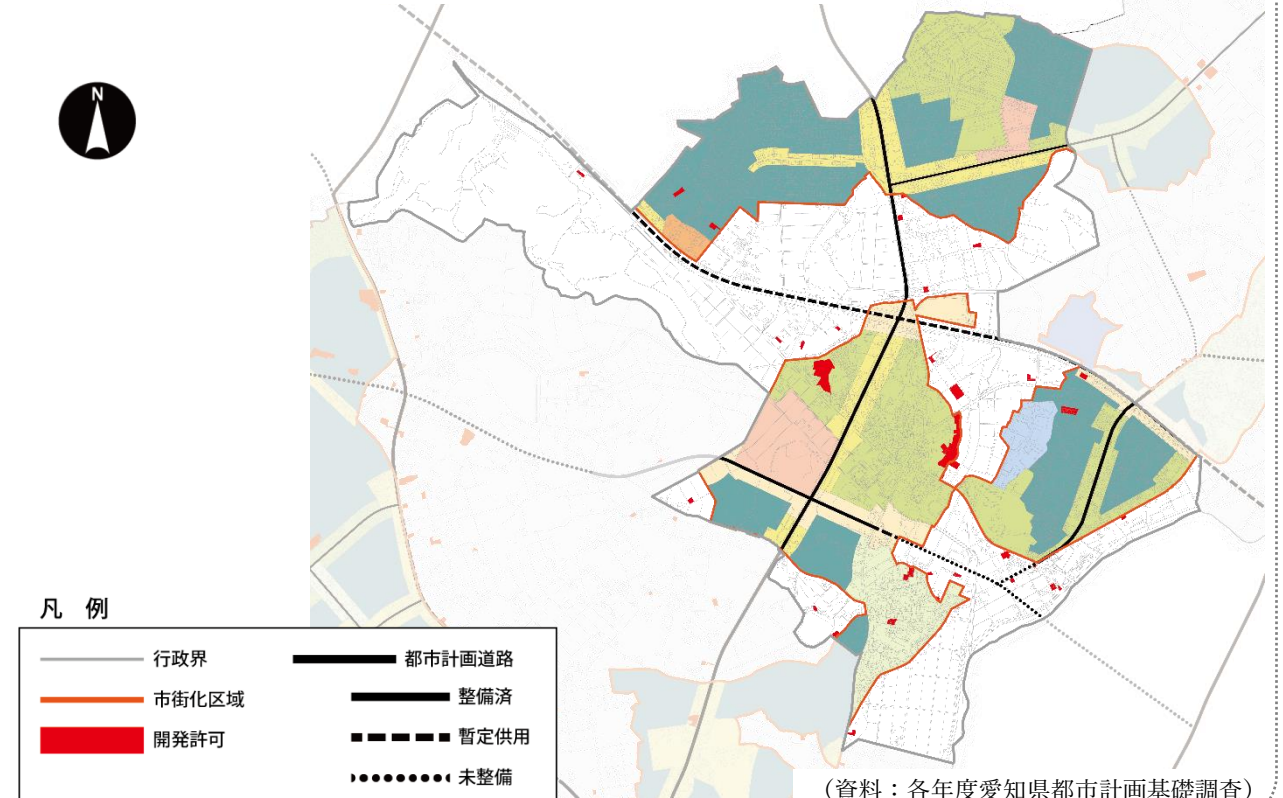


中部地域概況図

【中部地域概況図（主要施設の分布）】



【中部地域概況図（用途地域、開発行為等）】



町民アンケートの主な結果

お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について

- 町全体に比較して、「**住まい周辺の道路の整備状況**」、「**日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性**」で満足度が高い。
- 町全体に比較して、「**コミュニティや地域の人とのつながりの強さ**」、「**公民館など地区の集会施設の利用しやすさ**」で不満度が高い。

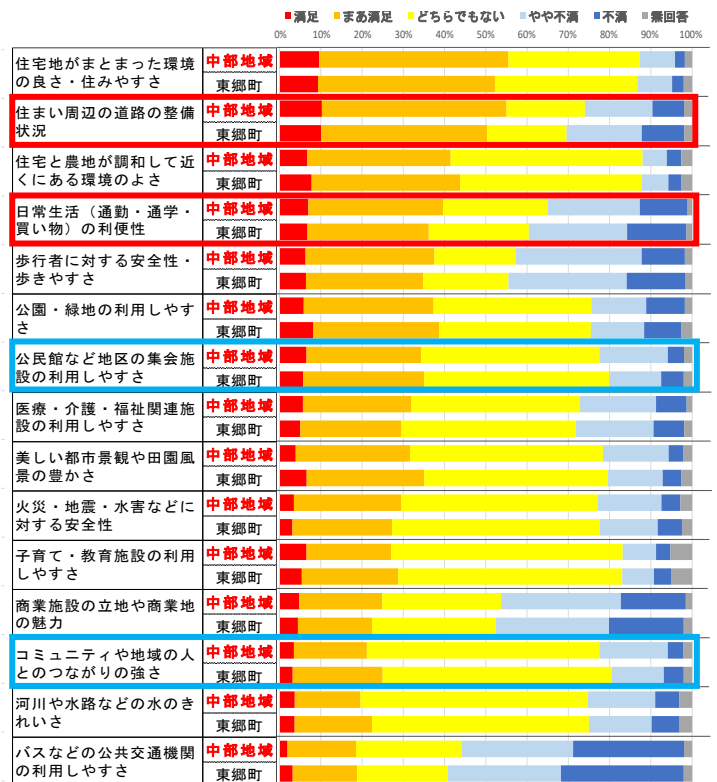
- 町全体に比較して満足度が高い項目
- 町全体に比較して不満度が高い項目

東郷町のこれからのまちづくりについて

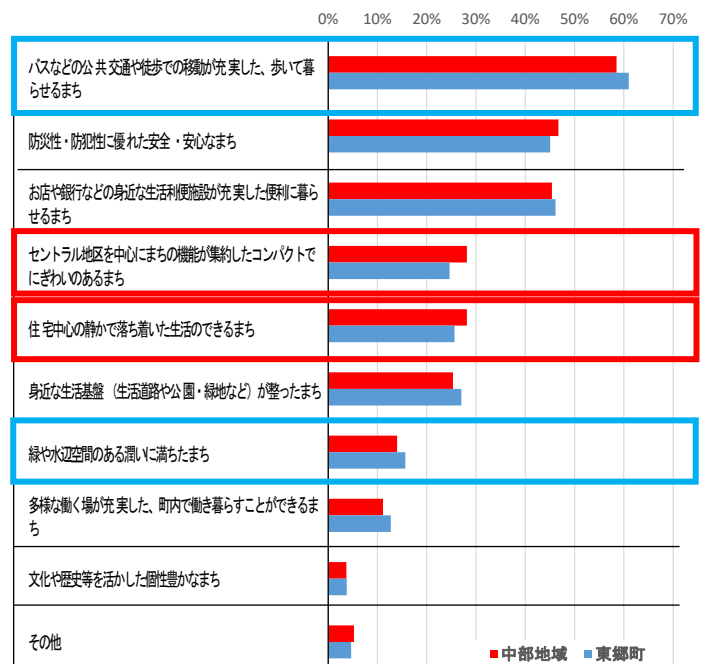
- 町全体に比較して、「**セントラル地区を中心にまちの機能が集約したコンパクトでにぎわいのあるまち**」、「**住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち**」を重視する回答が多い。
- 町全体に比較して、「**バスなどの公共交通や徒歩での移動が充実した、歩いて暮らせるまち**」、「**緑や水辺空間のある潤いに満ちたまち**」等が少ない。

- 町全体に比較して重視する回答が多い項目
- 町全体に比較して重視する回答が少ない項目

Q:【お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について】



Q:【東郷町のこれからのまちづくりについて】



※各設問における東郷町全体の数値との比率を計算し、上位・下位各2つを抽出

町全体に比較して東郷セントラル地区を中心にコンパクトなまちづくり、住宅中心の落ち着いた生活のできるまちづくりへの要望があります。

地域の優れた点・魅力、守るべき資源

- 緑が多い、道路が整備されている、犯罪が少ない等住宅地としての住みやすさや、商業施設や医院、公共施設が近くにある、日進駅までのアクセスも良い等生活の便利さ等。
- 地域のつながりがあり、盆踊り等のイベントも行われているところ。

地域での問題、課題

- 緑に囲まれた良好な居住環境を有している反面、手入れの行き届いていない耕作放棄地がある、高齢化の進行に伴い管理に係る担い手が不足している等。
- 自動車交通については、通過交通が多い、通学路が確保できていない等。
- 日常生活を送る上での最低限の利便性は確保されているが、若い人の集まる場所・行く場所がない、特産と言えるものがない等。

地域がめざす方向

生活環境 ▶ 安全・安心に暮らせるまち、子どもが安全に遊べる公園、若い世代が増える、高齢者も暮らし続けられる、町内で過ごしやすい、ぶらりできるまち等

交通・移動 ▶ 公共交通機関の充実等

地域活動 ▶ 地域で助け合える自治会づくり、高齢者・子ども等の交流の企画、新しい町民と前からの町民との交流・コミュニケーションが盛んになる、本地域がまとまるイベント、各自治会の温度差の解消等

まちづくりのアイデア

生活環境 ▶ 散歩の促進、健康づくりの促進等

地域資源 ▶ 歴史・文化施設等で散歩しやすく、クラブ活動（スポーツやものづくり等）を増やす、若者向け施設を整備、ららぽーとに町の施設を整備し交流を図る等

交通・移動 ▶ 散歩と組み合わせたバス路線整備、町民が出会う機会づくり、並木道・花畑の整備等

地域活動 ▶ 散歩・外出を促進する施策を試す（おしゃれな散歩道、歩こう会、散歩ルート開発）、農地の開放、中心商店街で交流の場づくり、ららぽーとを絡めた交流・イベント等

地域にとって大切なまちづくりのキーワード

- 利便性の高い都市環境（買い物、通院、用事等）
- 住みやすく快適な住環境
- 豊かな自然環境（森林の緑や池の水面等）
- どこへいくにも便利な公共交通

地域のまちづくりの主な目標について

- 豊かな自然を守り、東郷セントラル地区を中心として、子ども、高齢者が安全に暮らせる地域
- 安心、安全、便利で地域共助豊かな居住地
- 安全・安心に暮らせる街
- 笑顔で集う明るい街
- 町民のつながりコミュニケーション

(2) 地域のまちづくり課題

中心核の形成、地域生活拠点の充実・改善

- 東郷セントラル地区については、東郷町の中心核として、その形成に向け、町民を始め多くの人が集い、楽しむことのできるまちづくりを進める必要があります。
- 地域北側の押草団地等では人口の減少が進むとともに、高齢化の進行がみられます。これら地区の町民を始め本地域の町民が今後も安心して暮らし続けることができるためには、地域生活拠点として位置付けた白鳥地区を中心に、町民の暮らしを支えるような生活環境の充実・改善を図る必要があります。



市街化区域内の市街地環境整備・維持

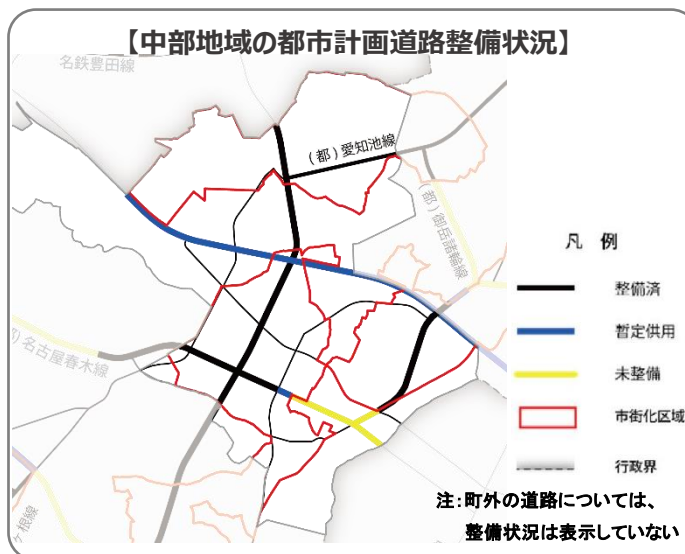
- 和合ヶ丘地区や北山台地区を始め面的整備のなされた地区については、今後とも良好な居住環境の維持・改善が必要です。また、和合地区や傍示本地区等の古くからの市街地や集落地では、生活道路等の基盤施設が十分整備されないままの地区がみられます。こうした市街地や集落地においては、交通安全性に加え、防災面での安全性の向上等により、町民が安全で安心して生活できるまちづくりを進める必要があります。



- 古くから地域に暮らす人と新たな町民が共存し協調するコミュニティの形成が必要です。

公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善

- (都)名古屋春木線等の都市計画道路が未整備で、交通サービスを始め、土地利用形成や災害対応等を含め、整備を促進する必要があります。



- 本地域では、地域中央部の町役場・いこまい館を発着点に東郷町巡回バスが分散する市街地を結んでおり、また、赤池駅と豊田市駅を結ぶ路線バス及び日進駅と知立駅を結ぶ路線バスも運行されています。東郷セントラル地区内ではバスターミナルが整備され、今後は、こうした公共交通の利便性を維持しつつ、徒歩や自転車等により地域内の主要施設等へのアクセス利便性を高める等、自動車を運転できない高齢者を始め誰もが安心して移動できるような公共交通環境の維持・改善を図ることが必要です。

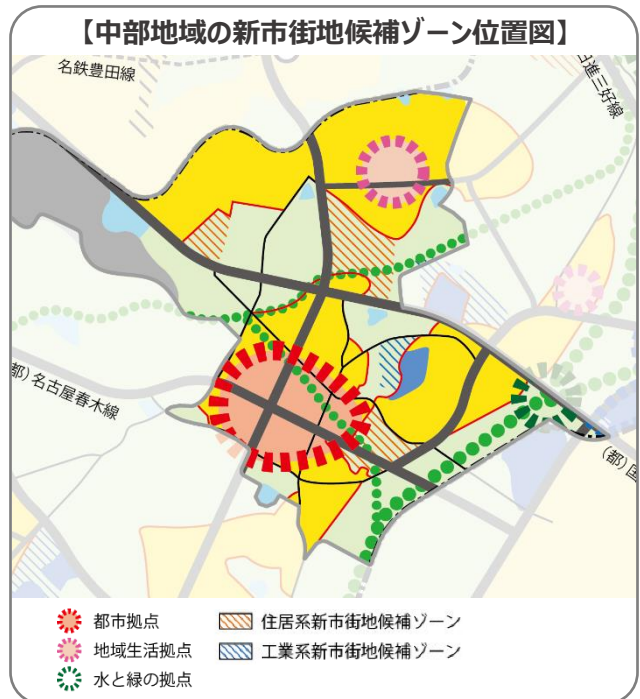


【いこまい館とじゅんかい君】

- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討する必要があります。

新市街地候補ゾーン実現化の検討

- 住居系新市街地候補ゾーンとして位置付けた北部の白鳥地区・和合ヶ丘地区と中央部の和合地区との間の市街化調整区域については、今後の住宅地需要や面的整備に向けた事業熟度等を踏まえながら、計画的に住宅地形成を図ることが必要です。
- 工業系新市街地候補ゾーンに位置付けた北山地区工業集積地周辺の市街化調整区域については、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、その形成に向けて、工業系機能を主体とした土地利用を促進することが必要です。



（3）地域のまちづくり目標

**賑わいと魅力を創出し、
多くの人交流する安心・便利な暮らしのあるまち**

本地域では、今住んでいる人たちが今後とも住み続けたいと思えるとともに、新たな居住者が移り住みたくなるような、町の中心核にふさわしい賑わいと魅力あるまちを目指します。また、人口の増加を想定し、新旧の町民や来街者との生き生きとした交流がある、安心、便利に暮らせるまちを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

行政が中心となり取り組むべき施策

東郷セントラル地区周辺の中心核の形成、白鳥地区の地域生活拠点の充実・改善のために

- ▶ 東郷セントラル地区の都市拠点では、広域的な集客機能を持つ商業施設や町役場等の既存公益施設の多様な都市機能が集約した町の中心核にふさわしい賑やかで魅力あふれ、最先端技術を活用した拠点の形成を図ります。さらに、町内外から多くの人を集客することから、町内の農産物等を商業施設で提供する、東郷ブランドの育成、PRの展開を推進します。



【東郷セントラル地区の商業施設イメージ】

(資料：令和2年7月10日三井不動産プレスリリース資料)

- ▶ 都市拠点のうち商業施設では、賑わい創出や集客だけでなく、住民票の交付や図書館窓口などの行政サービスを提供するとともに、町民活動の場としての広場の活用も検討します。また地域や民間事業者と連携し、町民の利便性の向上やコミュニティの形成による交流の活性化を目指します。
- ▶ 白鳥地区の地域生活拠点では、(都)愛知池線沿道を中心に、既存の商業施設等の集積を生かしながら、新たな生活利便施設の立地を促し、身近で利便性の高い商業地の形成を図るとともに、地区・世代間の人々の交流を促すコミュニティ施設の整備に対する支援や地域の子育て支援の拠点となる児童館等の充実を図ります。

面的整備地区や旧来からの市街地の市街地環境整備・維持のために

- ▶ 和合ヶ丘、白鳥、北山台地区の市街地では、幹線道路の沿道や主要な生活道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促します。
- ▶ 和合地区や傍示本地区の古くからの市街地や集落地では、通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進するとともに、防災性の向上を図り、安全・安心な生活環境を形成します。また、社寺を中心とした社寺林や路地等による歴史的な風景や景観の維持・保全を図るとともに、傍示本地区のアバマキ等の古木・大樹の維持・保存活動を支援するための施策を検討します。
- ▶ 境川緑地については、魅力ある水辺環境として整備及び維持管理を図り、町民の憩いの場として整備を進めます。
- ▶ 中部地域の小学校・中学校においては、施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設の整備を進めます。
- ▶ 消防団詰所長寿命化計画の策定により、老朽化が著しい消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置を進めます。

町内をネットワークする公共交通の利便性の維持・改善のために

- ▶ 東郷セントラル地区内のバスターミナルの整備に伴い、今後は路線やダイヤ設定、近隣市との連携等、東郷町巡回バスの利用しやすい環境づくりを進めていきます。また、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を進めます。
- ▶ 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討します。
- ▶ 歩行者が安全に安心して通行できるよう歩道の整備や歩道での段差解消を図るとともに、春木川を利用したウォーキングロードの整備を進めます。
- ▶ ボトルネック交差点等の改善や道路舗装の修繕を計画的に進めます。



【春木川】

住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

- ▶ 北部の白鳥地区・和合ヶ丘地区と中央部の和合地区との間の市街化調整区域においては、南北市街地の一体化を図るとともに、地域の活性化に資する、新たな居住者の受け皿となるような住宅地の形成を計画的に進めます。
- ▶ 町役場東側の春木字申下、春木字東羽根穴等の市街化調整区域については、(都)名古屋春木線沿道を中心に、周辺の住宅系市街地と一体となった住宅地の形成を計画的に進めます。
- ▶ 北山地区工業集積地周辺等の市街化調整区域においては、企業に対する情報提供や優遇措置等を検討し、東郷町全体での目標年次における工業系市街地の規模等を勘案しながら、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮し、計画的に工業系機能を主体とした土地利用を促進します。

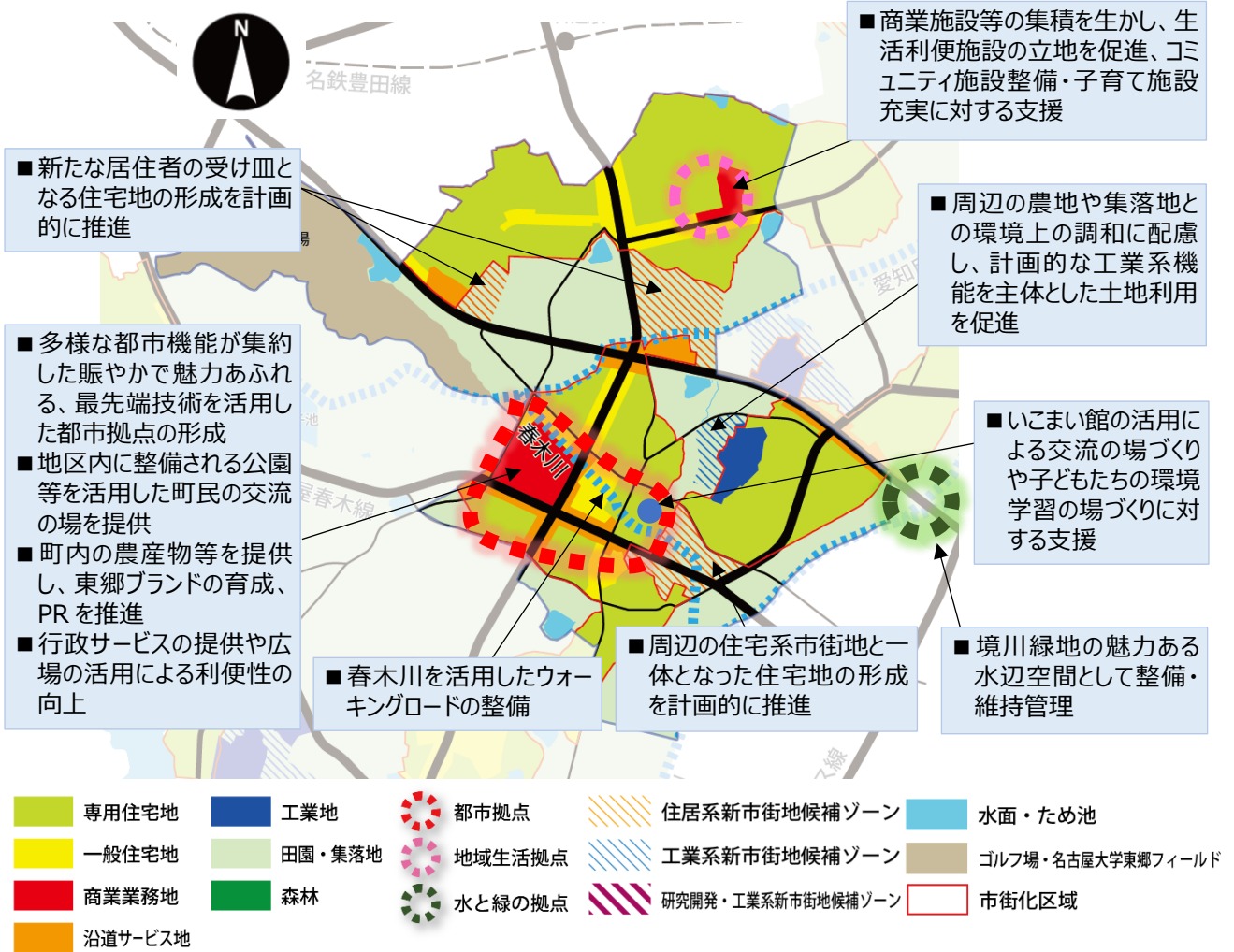
地域の町民等による取組に対する支援

- いこまい館を活用し、町民活動団体・ボランティア団体の交流の場づくりや子どもたちが環境について学ぶ場づくりに対する支援等を進めます。
- 面的整備がなされた市街地では、良好な居住環境の維持・保全に向け、地区の特性に応じたまちづくりルールの検討・策定等の地区の町民等が主体となった取組を支援するとともに、空き家発生予防のため、住み替えを促す施策を検討します。
- 古くから地域に暮らす人と新たな町民との交流やふれあいを促進していくためには、地域固有のお祭りや催事等を通じ、地域コミュニティの維持・活性化が重要であることから、現在行われている町民主体の活動を支援します。
- こうした活動や町民同士のふれあい活動の場として活用されている広場や空地等が今後も利用できるよう、町民等とともに、適正な維持管理に努めます。
- 今後整備・改修される広場や公園、共用スペース等については、民間や NPO 法人等による管理運営も視野に入れ、町民の交流や地域情報の発信、地域行事のお披露目の場として活用できるよう支援します。



【いこまい館】

【中部地域のまちづくり方針図】



【地域全体】

土地利用

- 幹線道路や主要な生活道路の沿道等を中心に、日常的な買い物ができる施設を誘導するため用途地域の見直しを検討し、小規模な店舗等の日常的な生活利便施設の立地を促進
- 面的整備がなされた市街地では、地区の特性に応じたまちづくりルールの検討・策定等の地区の町民等が主体となった取組を支援するとともに、空き家発生予防のため、住み替えを促す施策を検討
- 歩行者が安全に安心して通行できるよう歩道の整備や歩道での段差解消

公園緑地

- 社寺を中心とした社寺林や路地等による歴史的な風景や景観の維持・保全を図るとともに、古木・大樹の維持・保存活動を支援するための施策を検討

道路・公共交通

- 通過交通が流入しないよう、周辺幹線道路の整備や交通規制等、適切な交通処理を推進
- 巡回バスの利用しやすい環境づくり、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を推進
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討

その他

- 中部地域の小学校・中学校では施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設を整備
- 消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置

4 - 3 西部地域

(1) 地域の概況

西部地域の概況

- 本地域は、町域の西部に位置し、祐福寺、部田、白土、春木台、西白土、部田山、清水の各行政区で構成されています。

西部地域の人口推移

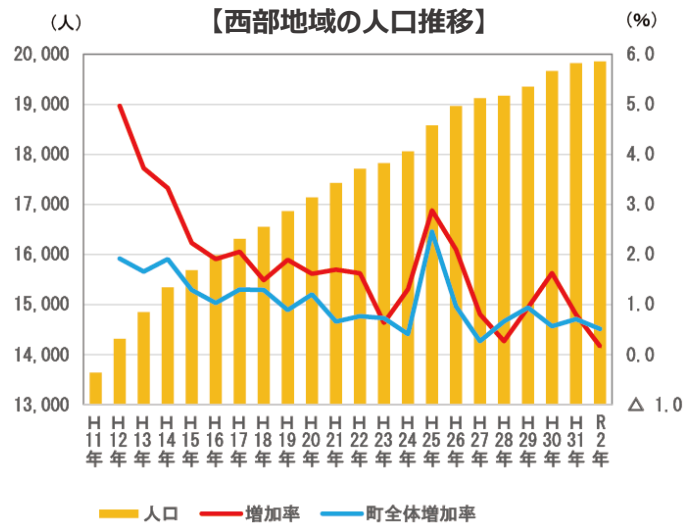
- 人口は令和 2 年 3 月末時点で 19,855 人で、3 地域のうちで最も多い人口を擁しています。人口動向は、一貫して増加傾向にあり、町全体の増加率を上回っています。

行政区別の人口推移

- 行政区域別の人口では、部田山・清水地区が最も多く、人口増加も顕著です。平成 24 年に清水地区が部田山地区から分割し新設されました。その他白土、春木台地区が増加傾向にありますが、祐福寺、部田、西白土地区の人口は大きな変化がありません。

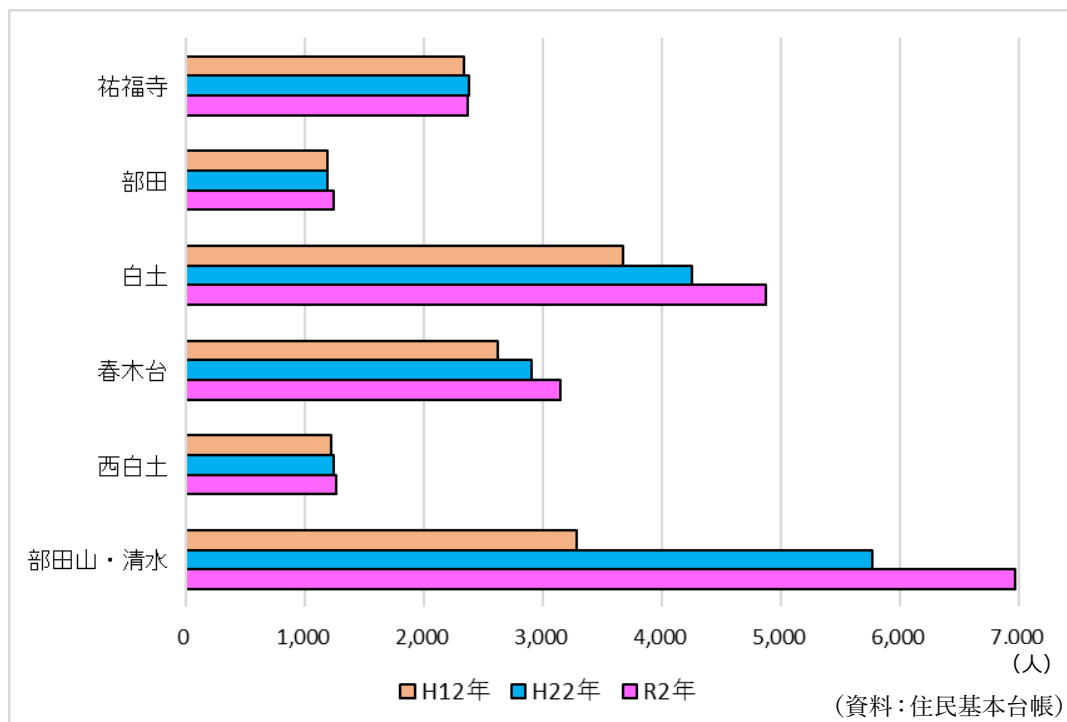
土地利用状況・交通状況等

- 市街化区域は地域の約 34%で、地域の約 3 分の 2 は市街化調整区域となっています。
- 市街化区域内には子育て施設やコンビニ等が立地しており、バス路線も比較的きめ細かく整備されていますが、市街化調整区域でのバスサービスは限られています。
- 西側市街化区域は、名古屋市と接する形で市街地が連担しています。

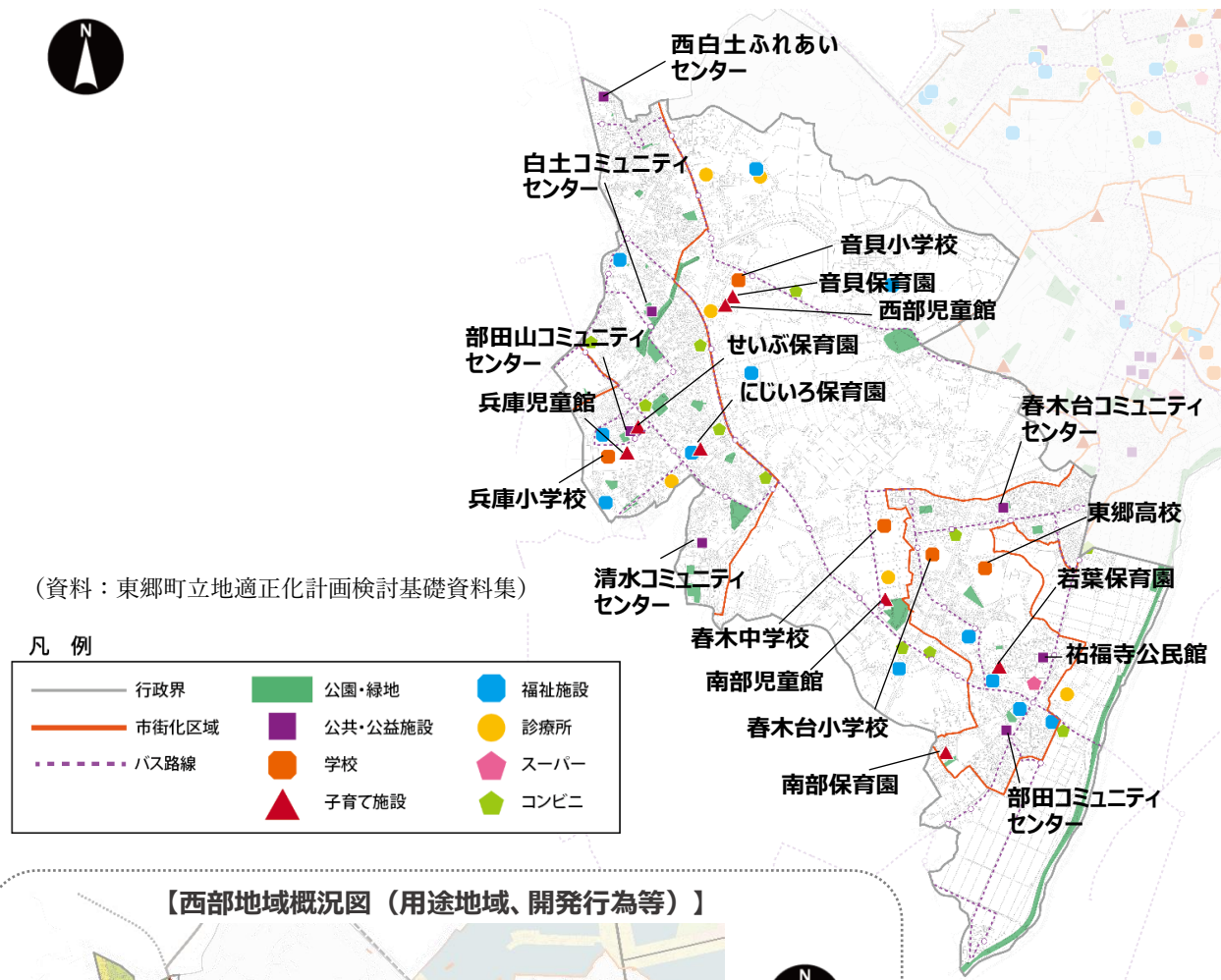


(資料：住民基本台帳)

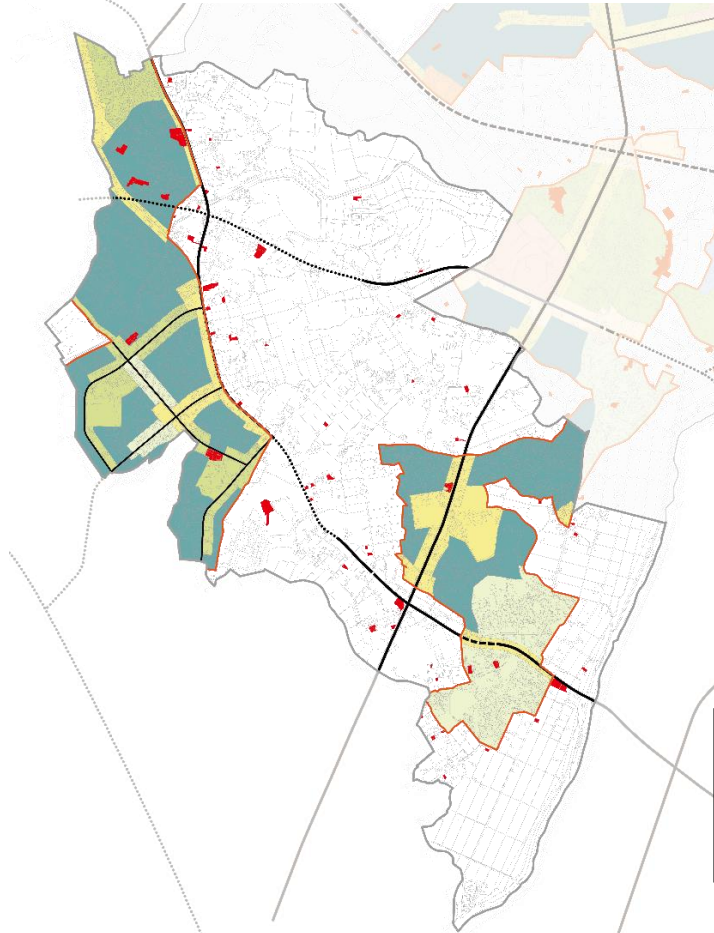
【行政区別の人口推移】



【西部地域概況図（主要施設の分布）】



【西部地域概況図（用途地域、開発行為等）】

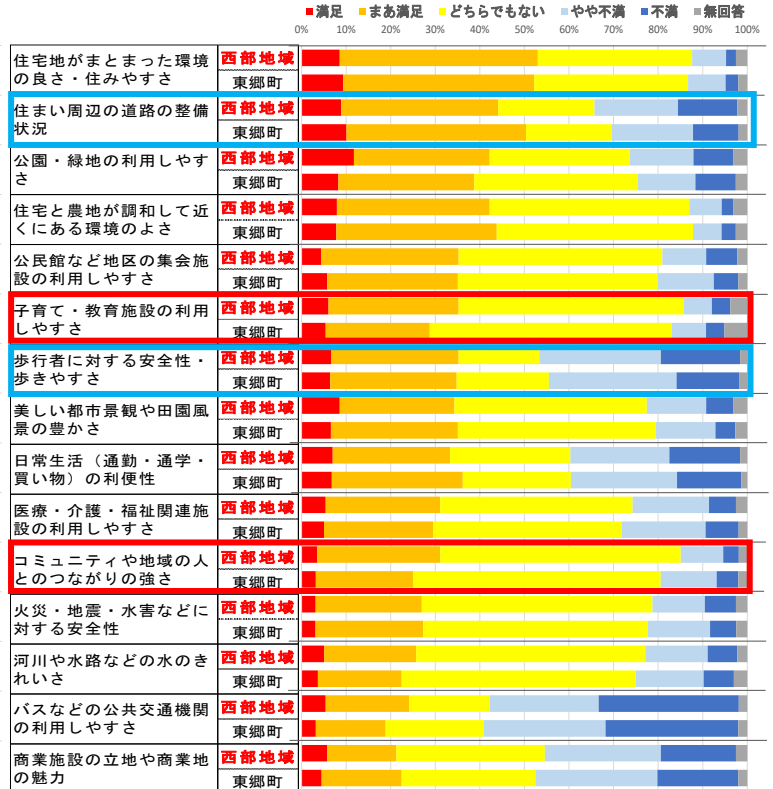


お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について

- 町全体に比較して、「子育て・教育施設の利用しやすさ」、「コミュニティや地域の人とのつながりの強さ」で満足度が高い。
- 町全体に比較して、「住まい周辺の道路の整備状況」、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」で不満度が高い。

町全体に比較して満足度が高い項目
 町全体に比較して不満度が高い項目

Q:【お住まいの地区の日常の暮らしやすさや周りの環境について】

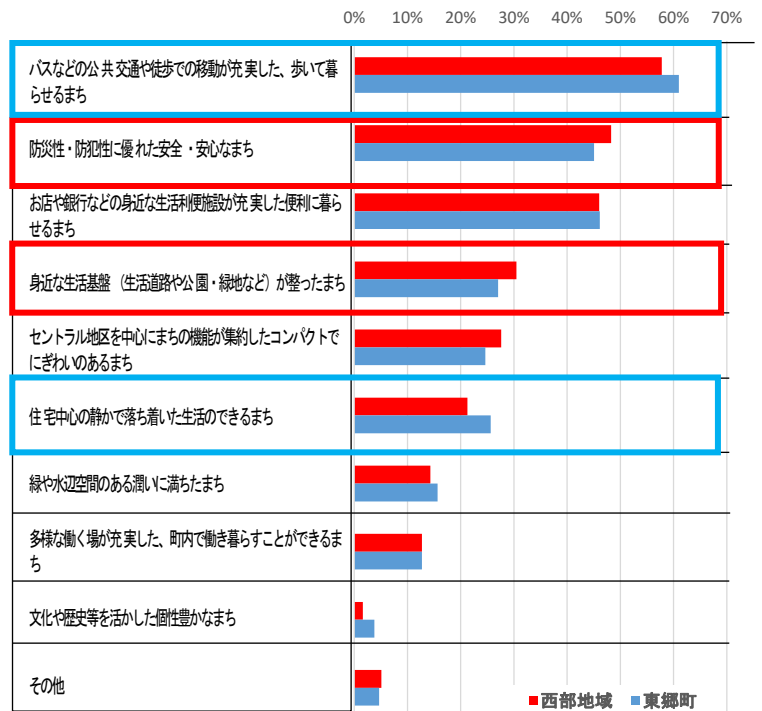


Q:【東郷町のこれからのまちづくりについて】

東郷町のこれからのまちづくりについて

- 町全体に比較して、「防災性・防犯性に優れた安全・安心なまち」、「身近な生活基盤（生活道路や公園・緑地など）が整ったまち」を重視する回答が多い。
- 町全体に比較して、「バスなどの公共交通や徒歩での移動が充実した、歩いて暮らせるまち」、「住宅中心の静かで落ち着いた生活のできるまち」が少ない。

町全体に比較して重視する回答が多い項目
 町全体に比較して重視する回答が少ない項目



※各設問における東郷町全体の数値との比率を計算し、上位・下位各2つを抽出

町全体に比較して防災・防犯での安全・安心なまちづくり、身近な生活基盤施設整備への要望があります。

地域の優れた点・魅力、守るべき資源

- 祐福寺や浅間神社等豊富な歴史資源を有している。
- 人と人のつながりが強く、一斉清掃やお祭り、老人クラブのイベント等多くのコミュニティ活動が行われている。

地域での問題、課題

- 通過交通が多く危険、渋滞が多い、道路が狭く歩道が確保されていない等の生活道路の環境について。
- 路線バスの本数が少なく公共交通の便が悪い、スーパーが少ない等日常生活の利便性。
- 空き地等の管理が不十分なところがあり除草が必要。

地域がめざす方向

- 生活環境 ▶ 車がなくても日常生活に困らない、文化的・衛生的な環境整備、防犯・防災上の問題対応等
- 地域資源 ▶ 高齢者や若者が利用できる公園整備、安全に利用できる公園、自治会と神社の適正な関係等
- 交通・移動 ▶ 公共交通機関の充実、バスの路線再編、道路の整備（拡幅、県道の渋滞解消、歩行者の安全確保）等
- 地域活動 ▶ 新しい町民と前からの町民との協力・つながり強化、自治会の高齢化への対応、公園の適正管理（地域と行政との役割）等
- その他 ▶ 空き地の有効利用等

まちづくりのアイデア

- 生活環境 ▶ 下水・側溝の整備等
- 地域資源 ▶ ベンチ設置、環境整備等
- 交通・移動 ▶ 交通危険マップの作成、きめ細かい巡回バス等のルート設定、ノーカーデーの実施、周辺自治体との交通連携、高齢者タクシーの活用等
- 地域活動 ▶ 世代間交流・イベントの工夫、コミュニティの場の充実、人手のかからないイベント（マルシェ等）の実施等
- その他 ▶ 空き地の活用（教育の一環で農業実施、地域の駐車場として活用）等

地域にとって大切なまちづくりのキーワード

- 住みやすく快適な住環境
- 利便性の高い都市環境（買い物、通院、用事等）
- コミュニティの繋がりが
- 地域固有の歴史・文化的資源（社寺）

地域のまちづくりの主な目標について

- 人と人のつよいつながり
- コミュニティの繋がりを大切にする年代の差が大きくなっている
- 住み良い町
- 繋げよう「安全、安心、快適」な街
- 安心安全なまち
- 東郷町で一番きれいな地域
- 老後、車がなくても住める町
- 老若男女が居心地の良い環境へ

(2) 地域のまちづくり課題

自然環境や文化資源の保全と活用

- 祐福寺地区、部田地区、白土地区の古くからの市街地では、祐福寺を始め数多くの社寺が立地しており、また、市街地内外に関わらず大小様々なため池もみられ、これらの周辺には緑豊かな樹林地も残されています。こうした本地域ならではの自然環境や文化資源を生かしながら、本地域の魅力を高めていくことが必要です。



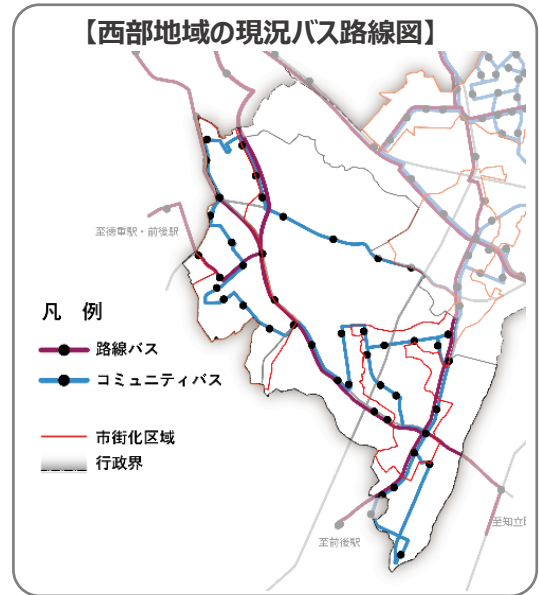
多様な市街地や集落の環境整備

- 部田山地区や祐福寺地区について、商業施設等の日常的な生活サービス機能の維持・充実による地域生活拠点の形成を図ることが必要です。
- 面的整備がなされた部田山地区等の市街地においては、若い世代を中心に人口が大きく増加する傾向がみられます。こうした増加する町民の暮らしを支えるとともに、祐福寺地区及び部田地区の古くからの市街地等人口の停滞が進む地区の町民が今後も安心して暮らし続けることができるためには、地域生活拠点として位置付けた部田山地区や祐福寺地区を中心に、町民の暮らしを支えるような生活環境の充実・改善を図ることが必要です。
- 祐福寺地区、部田地区、白土地区等の古くからの市街地や集落地では、基盤施設が未整備な地区がみられます。こうした市街地や集落地においては、通過交通の排除等の交通面の安全性に加え、防災面での安全性の向上等により、町民が安全で安心して生活できるまちづくりを進めることが必要です。
- 市街地内には空地が多く、良好な市街地環境の形成のために、これらの適正な管理と有効利用が必要です。



公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善

- 祐福寺地区、部田地区、白土地区の市街化調整区域に多くの集落地が点在しており、これらの地区を始め、春木台地区等の市街地においても、バスサービスが十分でなく、公共交通利便性の向上が求められています。今後は、バスを始め、徒歩や自転車等により地域内の主要施設等へのアクセス利便性を高める等、自動車を運転できない高齢者を始め誰もが安心して移動できるような公共交通環境の維持・改善を図ることが必要です。
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した取組を検討する必要があります。

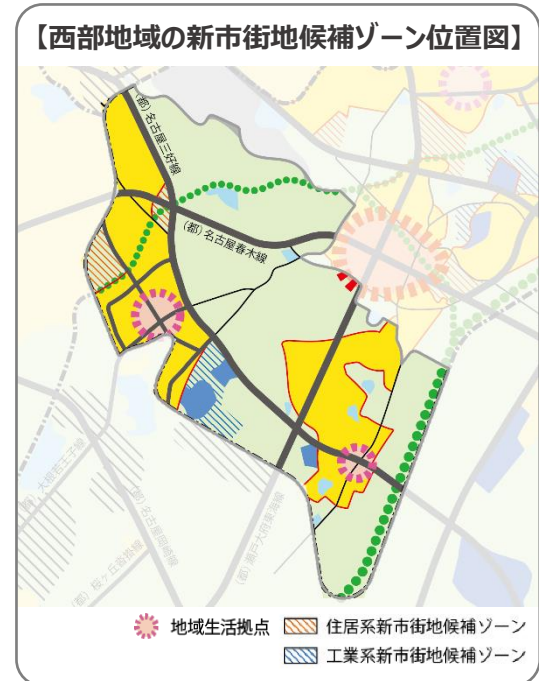


地域を支えるコミュニティの維持

- 人と人とのつながりが強く、コミュニティ活動が盛んな地域であり、これらに対するソフト・ハードのより一層の支援が必要です。

新市街地候補ゾーン実現化の検討

- 住居系新市街地候補ゾーンとして位置付けた春木字藤坂等の市街化調整区域については、今後の住宅地需要や面的整備に向けた事業熟度等を踏まえながら、計画的に住宅地形成を図ることが必要です。
- 工業系新市街地候補ゾーンに位置付けた東郷町工業団地周辺の市街化調整区域については、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、その形成に向けて、工業系機能を主体とした土地利用を促進することが必要です。



(3) 地域のまちづくり目標

自然・文化を通じた多世代交流と
安全・快適な暮らしのあるまち

本地域では、地域固有の自然資源や文化資源を通じて本地域に移り住んだ若い人たちから高齢者までが交流し繋がりを育むことができるまちを目指します。こうした地域資源を活用した魅力の向上やコミュニティの形成にあわせ、交通環境の改善等の都市整備を進め、安全・快適に暮らすことができるまちを目指します。

(4) 地域のまちづくり方針

行政が中心となり取り組むべき施策

地域固有の自然環境や文化資源の保全と活用のために

▶ 茶苦煎池や千子池、今池等規模が大きいため池については、周辺に残る樹林地を含め魅力ある親水性のある水辺環境としての維持・保全及び耐震化を図り、緑や生きもの等の自然にふれあうことのできる場や町民の憩いの場として活用を図ります。

▶ 祐福寺地区を始め、社寺等の文化資源が多く残る古くからの市街地においては、伝統的な風景の保全・継承を図ります。



【富士浅間神社】

▶ 貴重な都市内緑地として、町民に親しまれ、歴史を感じさせる祐福寺、富士浅間神社等の社寺林の保全に努めるとともに部田地区のクロガネモチ等の古木・大樹の維持・保存活動を支援します。

▶ 境川周辺に広がるまとまった農地については、農地集積・農地集約を利用した大区画化の推進を図り、虫食的な開発の抑制を図るとともに、豊かな自然景観と農地の保全を図ります。

面的整備地区や古くからの市街地や集落等、多様な市街地や集落の環境整備のために

▶ 部田山地区の(都)藤坂清水線と(都)兵庫三ツ池線の交差点周辺では、各種公共公益施設や商業施設等の集積を生かし、地域生活拠点として新たな生活利便施設の立地を促すとともに、地区・世代間の人々の交流を促すコミュニティ施設の整備に対する支援や地域の子育て支援の拠点となる施設の充実を図ります。

▶ 祐福寺地区では、(都)名古屋三好線沿道の立地条件を生かし、日常的な生活サービス施設の立地による地域生活拠点の形成を図ります。

▶ 祐福寺地区、部田地区等の基盤施設が未整備な地区を中心に、生活道路の整備による通過交通の排除や行き止まり道路の解消等により、交通環境の安全性の向上や、市街地の防災性の向上を図ります。

▶ 白土地区では地区計画を活用し、狭あい道路解消のため、引き続き生活道路の整備を進めます。

▶ 市街地内に分布する空き地の適正管理により良好な市街地環境の形成を図ります。

▶ 未整備公園・緑地については、協働による地域密着型の計画・整備を進め、子どもから高齢者までが楽しめる施設を整備します。

▶ 西部地域の小学校・中学校においては、施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設の整備を進めます。

▶ 消防団詰所長寿命化計画の策定により、老朽化が著しい消防団詰所の改修・建替えや消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置を進めます。

きめ細かくサービスする公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善のために

- ▶ 路線やダイヤ設定、近隣市との連携等、東郷町巡回バスの利用しやすい環境づくりを進めます。また、高齢者を始め誰もが使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を進めます。
- ▶ 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討します。
- ▶ 歩行者が安全に安心して通行できるよう歩道の整備や歩道での段差解消を図るとともに、愛知用水等の水と緑の環境軸を中心に愛知用水の管理用道路を利用した歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。
- ▶ ボトルネック交差点の改善や道路舗装の修繕を計画的に進めます。

地域を支えるコミュニティの維持のために

- ▶ 地域固有のお祭りや催事を含めた伝統文化の活動や町民同士のふれあい活動の場として活用されている広場や空地等が今後も利用できるよう、町民等とともに、適正な維持管理に努めます。

住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

- ▶ 春木字藤坂等の既存市街化区域や幹線道路に囲まれた市街化調整区域においては、東郷町全体での目標年次における住居系市街地の規模等を勘案しながら、新たな居住者の受け皿となるような住宅地の形成を計画的に進めます。
- ▶ 東郷町工業団地を含む市街化調整区域においては、周辺の農地や集落地との環境上の調和に配慮しつつ、工場や物流施設等新たな産業立地による土地利用を促進します。

地域の町民等による取組に対する支援

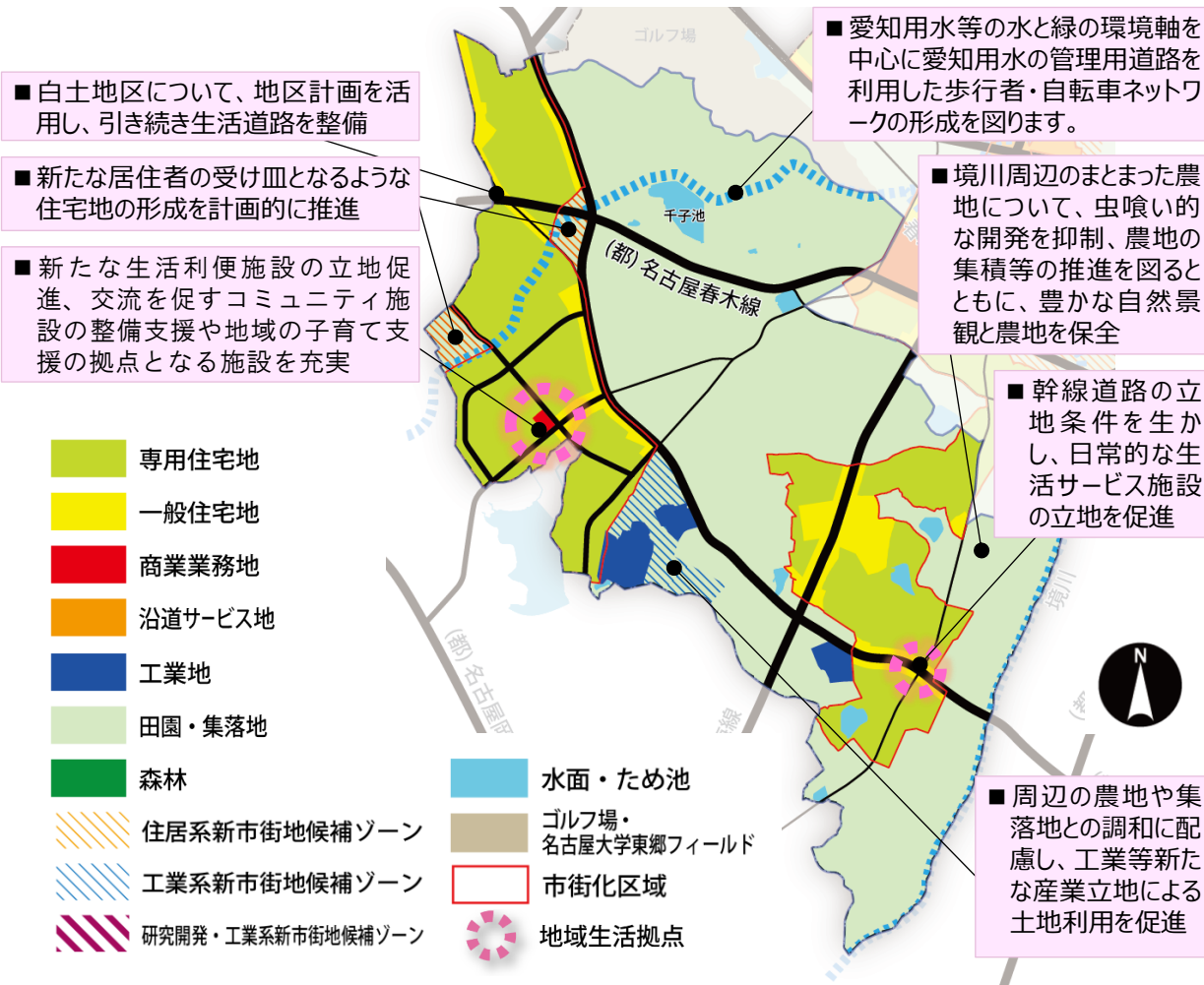
- ▶ 地域内に残る緑地の維持・保全、市街化調整区域における農地保全を図るため、ため池を活用した自然にふれあうことのできる場の提供等、町民等が主体となった緑づくりや農地保全に関する取組を支援します。また、地域の担い手となる農業者の育成や受け入れを支援します。
- ▶ 地域固有のお祭りや催事を含めた伝統文化を保全していくためには、それを支えてきた地域コミュニティの維持・活性化が重要であることから、現在行われている町民主体の活動を支援します。



【農業者の育成を行う、
とうごう農学校の様子】

- ▶ 町民による空地の管理・活用により、旧来からの居住者、新たに転入した居住者、外国人居住者との交流、子どもを中心としたコミュニティ活動等、多様な交流活動の取組を支援します。
- ▶ 今後整備・改修される広場や公園、共用スペース等については、民間や NPO 法人等による管理運営も視野に入れ、町民の交流や地域情報の発信、地域行事のお披露目の場として活用できるよう支援します。

【西部地域のまちづくり方針図】



【地域全体】

土地利用

- 規模が大きなため池については、親水性のある水辺環境として維持・保全や耐震化を図り、自然にふれあうことのできる場や町民の憩いの場として活用
- 社寺を始めとする文化資源が多く残る古くからの市街地においては、伝統的な風景を保全・継承
- 市街地内の空地の適正管理により良好な市街地環境の形成を図る

公園緑地

- 未整備公園・緑地については、協働による地域密着型の計画・整備を進め、子どもから高齢者までが楽しめる施設を整備
- 祐福寺等の社寺林の保全に努めるとともに、部田地区のクロガネモチ等の大樹の維持・保存活動を支援

道路・公共交通

- 基盤施設が未整備な地区を中心に、生活道路の整備による通過交通の排除や行き止まり道路の解消等の計画的な市街地整備により、交通環境の安全性の向上や、市街地の防災性を向上
- 巡回バスの利用しやすい環境づくり、誰にでも使いやすい車両や施設（バス停等）の改善を図るとともに、バリアフリー化を推進
- 既存の公共交通サービスに加え、地域の状況に適したモビリティサービスの導入に向けた新技術を活用した新たな取組を検討
- ボトルネック交差点の改善や道路舗装の修繕を計画的に推進

その他

- 現在行われている町民主体の活動を支援、活動の場としての広場や空地等を町民等とともに、適正に維持管理
- 地域の担い手となる農業者の育成や受け入れを支援
- 西部地域の小学校・中学校では、施設の長寿命化や人荷用エレベーターの改修等バリアフリー化を目的に老朽化した学校施設を整備
- 消防団詰所の改修・建替えや耐震性貯水槽の新設、消防水利の整備、防災倉庫の改修・設置
- 町民等が主体となった緑づくりや農地保全に関する取組を支援

地域別構想 地域ごとのまちづくり目標・方針の整理（まとめ）

		東部地域	中部地域	西部地域
全体構想のうち地域別構想で留意すべき事項		<ul style="list-style-type: none"> ■ 唯一、産業拠点としての位置付け ■ 米野木駅周辺地域を良好な住宅市街地及び研究開発・工業系新市街地としての整備を検討 ■ 住居系・工業系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田知立バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 豊田東郷線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 御岳諸輪線、東郷三好線、日進三好線未整備 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の開発による都市拠点としての位置付け ■ 住居系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 豊田東郷線未整備区間 ■ (都) 国道 153 号バイパス線暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備区間・暫定供用区間 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住居系・工業系新市街地候補ゾーン ■ (都) 名古屋三好線未整備区間・暫定供用区間 ■ (都) 名古屋春木線未整備
町民アンケート結果		<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「コミュニティや地域の人とのつながりの強さ」、「公民館など地区の集会施設の利用しやすさ」で不満度が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町全体に比較して、「住まい周辺の道路の整備状況」、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」で不満度が高い。
第3回まちづくり会議の意見	大切だと思うキーワード※1	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（14点） ■ 利便性の高い都市環境（10点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（10点） ■ 豊かな自然環境（9点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 利便性の高い都市環境（12点） ■ 住みやすく快適な住環境（7点） ■ 豊かな自然環境（6点） ■ どこへ行くにも便利な公共交通（4点） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすく快適な住環境（10点） ■ 利便性の高い都市環境（7点） ■ 地縁・コミュニティの繋がり（7点） ■ 地域固有の歴史・文化的資源（6点）
	まちづくり目標	<ul style="list-style-type: none"> ■ 幅広い年代が支え合い、コミュニティを形成する等の意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 安心安全な移動の確保 ▶ 中高齢者を地域で支えるコミュニティづくり ▶ 地域資源を活用したまちづくり ▶ 幼児から老人まで自家用車なしで暮らせるまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東郷セントラル地区の拠点に関するキーワードとともに、安心安全を目標とする意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 豊かな自然を守り、セントラル地区を中心に子ども、高齢者が安全に暮らせる地域 ▶ 安心安全に暮らせるまちづくり ▶ 笑顔で集う明るいまち 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住みやすい環境、コミュニティの繋がり、安全安心に関する意見が多い。 【回答の一例】 ※類似した趣旨の回答はまとめて記述しています ▶ 人と人の強いつながり ▶ 住み良い町、老若男女が居心地の良い環境 ▶ 繋げよう「安全、安心、快適」な街づくり ▶ 老後、車がなくても住める町 等
まちづくり目標の見直しの視点		<ul style="list-style-type: none"> ■ 産業活力のキーワードは残しつつ、町民アンケートやまちづくり会議のご意見を踏まえ、「快適な住環境」や「交通環境の改善」といったキーワードを加えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 都市拠点である東郷セントラル地区の整備が進んでいることから、「賑わい、魅力、便利」といったキーワードを加えます。一方でまちづくり会議のご意見を踏まえ、「安心」も明記します。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のニーズが高い「交通環境の改善」「安全」といったキーワードを加えます。また本地域の強みである「人々の交流（コミュニティ）」といったキーワードも明記します。

本計画における地域別まちづくり目標	<p>豊かな自然と新たな産業活力が調和した 誰もが快適に暮らせるまち</p> <p>本地域では、愛知池周辺に広がる森林等を始め豊かな自然を守り、育み、活用しながら、新たな産業による活力や住みよい環境の創出を目指します。また、交通環境の改善等に取り組み、高齢者を始め誰もが快適に暮らしやすいまちを目指します。</p>	<p>賑わいと魅力を創出し、多くの人が交流する安心・便利な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、今住んでいる人たちが今後とも住み続けたいと思えるとともに、新たな居住者が移り住みたくなるような、町の中心核にふさわしい賑わいと魅力あるまちを目指します。また、人口の増加を想定し、新旧の町民や来街者との生き生きとした交流がある、安心、便利に暮らせるまちを目指します。</p>	<p>自然・文化を通じた多世代交流と安全・快適な暮らしのあるまち</p> <p>本地域では、地域固有の自然資源や文化資源を通じて本地域に移り住んだ若い人たちから高齢者までが交流し繋がりを育むことができるまちを目指します。こうした地域資源を活用した魅力の向上やコミュニティの形成にあわせ、交通環境の改善等の都市整備を進め、安全・快適に暮らすことができるまちを目指します。</p>
地域のまちづくり方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知池や田園景観等の自然環境の保全と既存市街地との調和のために ● 諸輪地区等の市街化区域内の市街地環境整備・維持のために ● 旧来からの市街化調整区域内集落の生活環境・コミュニティの維持のために ● 広域的交通体系と身近な交通環境の整備推進のために ● 住居系及び研究開発・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 東郷セントラル地区周辺の中心核の形成、白鳥地区の地域生活拠点の充実・改善のために ● 面的整備地区や旧来からの市街地の市街地環境整備・維持のために ● 町内をネットワークする公共交通の利便性の維持・改善のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域固有の自然環境や文化資源の保全と活用のために ● 面的整備地区や古くからの市街地や集落等、多様な市街地や集落の環境整備のために ● きめ細かくサービスする公共交通、快適に移動できる交通環境の維持・改善のために ● 地域を支えるコミュニティの維持のために ● 住居系・工業系新市街地候補ゾーン実現化のために

※1：第3回まちづくり会議において「大切だと思うキーワード」は大切だと思う順に選択する設問となっており、「最も大切」= 3点、「2番目に大切」= 2点、「3番目に大切」= 1点として点数化した結果をカッコ書きしている。

